

# FFG調査月報

あなたのいちばんに。  
FFG 福岡ファイナンシャルグループ

MONTHLY SURVEY  
2012年8月 VOL.51

寄稿

## お茶で農商工連携

～九州発 お茶による九州経済の活性化とお茶文化の創造～

# 8

Top Interview

## トップに聞く!

- 梶島 光政 氏 丸東産業 株式会社 代表取締役社長  
副島 健史 氏 株式会社 お菓子の香梅 代表取締役社長  
橋本 博文 氏 株式会社 橋本商会 代表取締役社長



鶴見岳(つるみだけ1,375m) ロープウェイが山上駅(標高1,300m)まで通じており、東に別府湾、西に由布岳を望むことが出来る。



マンスリーコラム ⑩ 大浦慶

# 維新ノ志士ヲ愛シタ女傑。

いつ死んでもいいように身边をきれいにしたい、と縁切りを告げる男に…「お国のために働くにはお金は邪魔になりません。持ってお帰り」と。小判の包みを残して男は去り、女は膳の盃を静かに飲み干す。女三十九歳。盛り過ぎたことを自覚する寂寥(せきりょう)を「剛毅」に包んで、直木賞作家の筆(白石一郎著「天翔ける女」)は、なお、美貌の女傑の誇りと意気地を立ち昇らせる。

大浦慶。幕末の長崎に集う志士たちを陰で支えた女として維新の裏面史を彩る。司馬遼太郎の『龍馬がゆく』、最近では猫を抱く余貴美子が扮した大河ドラマ「龍馬伝」(福山雅治主演)で広く知られるようになった。もともと、長崎・油屋町の有力油商の長女の生まれ。大火で傾いた家業を背負って日本茶の交易に活路を見出し、茶の輸出産業への道を拓いて財を成した。

お茶が生活必需品となった欧米の事情、唯一の茶葉輸出国である清国(中国)の生産・流通停滞を見据える国際感覚に加えて、取引の現実を知るため、茶箱に潜んで上海に密航する度胸と商魂があった。嬉野茶の「試供品」をオランダ人貿易商に託して欧米に直接PRする新商法が輸出品としての大量注文につながる。産業以前だった茶業を育成し、嬉野茶をはじめ、今日の九州茶の基盤を築いたのは、まさに大浦慶であった。

坂本龍馬、大隈重信、松方正義…お慶の庇護・支援を受

geppou  
最新情報を携帯からも  
チェック!

# CONTENTS

トップに聞く! ..... 2

## Top Interview

花島 光政氏 ..... 4  
(丸東産業 株式会社 代表取締役社長)

副島 健史氏 ..... 10  
(株式会社 お菓子の香梅 代表取締役社長)

橋本 博文氏 ..... 16  
(株式会社 橋本商会 代表取締役社長)

FFGニュース ..... 22  
「親和銀行 新頭取 小幡 修 就任披露パーティ」  
を開催致しました。

寄稿 ..... 24  
お茶で農商工連携  
～九州発 お茶による九州経済の活性化とお茶文化の創造～

## DATA

経済動向 ..... 31  
九州、福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県

経済指標 ..... 40  
全国、福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県

海外拠点紹介 ..... 45

特別企画 ..... 46  
FFG生活者アンケート(福岡県)  
「格安航空会社(LCC)」と「ロンドンオリンピック」  
に関する意識調査について

【バックナンバーのお知らせ】  
「FFG 調査月報」のバックナンバーは、  
ふくおかフィナンシャルグループの  
ホームページにてご覧いただけます。  
<http://www.fukuoka-fg.com/>



大浦慶と嬉野の茶畑



所在地：長崎県長崎市油屋町2番46号

けて日本の夜明けに働いた若者は知れない。あのとき、「いつ死んでも」と巣立ったツバメ、陸奥宗光は外務大臣となって不平等条約の改正、日清戦争講和に命を賭した。風雲児にありがちな晩年の不遇は女にも例外ではなく、横浜開港による長崎貿易の凋落に詐欺被害が追い打ちとなった。五十五歳の失意の死の床。夢にめぐるは若き獅子たちの面影だったのだろうか。



47-96 丸東産業 株式会社

丸東産業

検索

- 創 業：1939年10月
- 設 立：1947年3月
- 所 在 地：福岡県小郡市
- 資 本 金：18億700万円
- 従 業 員：384名
- 事業内容：包装資材(複合フィルム及び単体フィルム)の製造・販売、  
包装資材(複合フィルム、単体フィルム及び容器等)の仕入・販売
- 事業拠点：福岡県小郡市(本社・工場)、東京都墨田区(営業所、デザイン企画部門)  
栃木県小山市、名古屋市北区、大阪市淀川区、広島市南区、山口県  
下関市、長崎県諫早市、熊本市中央区、大分県大分市、宮崎県宮崎市、  
鹿児島県鹿児島市、沖縄県那覇市、福岡市東区(営業所)  
福岡市東区(製袋子会社)、香港(子会社)

106-156 株式会社 お菓子の香梅

香梅

検索

- 創 業：1949年10月
- 設 立：1962年10月
- 所 在 地：熊本市中央区
- 資 本 金：4,600万円
- 従 業 員：419名
- 事業内容：「嘗の陣太鼓」を中心とした 和菓子・洋菓子の製造及び販売
- 事業拠点：熊本市(本社、店舗)  
菊池郡菊陽町、菊池市、合志市、菊池郡大津町、玉名市、山鹿市、  
宇土市、宇城市、八代市、人吉市、上益城郡益城町(店舗)  
熊本県阿蘇郡西原村(工場、通信販売受注センター)、  
福岡市南区(営業所)

166-216 株式会社 橋本商会

橋本商会

検索

- 創 業：1872年3月
- 設 立：1921年12月
- 所 在 地：長崎県長崎市
- 資 本 金：1億5,062万円
- 従 業 員：85名
- 事業内容：産業用機械機器、制御用機器・FA機器、ビル設備機械器具  
等の販売、不動産賃貸業、梅の種を原料としたサプリメント、  
化粧品、美容品の企画、販売
- 事業拠点：長崎県長崎市(本社)、福岡市中央区(支店)

# トップに聞く!

丸東産業 株式会社

代表取締役社長 **椛島 光政 氏**

4-9p

「お客様第一主義」を実践する  
パッケージ創造企業として  
人々の豊かな生活に貢献する。



株式会社 お菓子の香梅

代表取締役社長 **副島 健史 氏**

10-15p

「くつろぎのごちそう」を皆様へ  
これからも美味しい  
お菓子をつくり続ける



株式会社 橋本商会

代表取締役社長 **橋本 博文 氏**

16-21p

“より高く” “正直は最良の施策なり”  
変わらぬ理念を守りながら、  
次代の技術情報商社へと進化を目指す





トップに聞く!

「お客様第一主義」を実践する  
パッケージ創造企業として  
人々の豊かな生活に貢献する。

丸東産業株式会社  
代表取締役社長

椀島 光政氏

取引店 / 福岡銀行 本店営業部





▲当社エントランスにて(左から谷頭取、梶島社長)

「セロファンの丸東」から  
「包装の丸東」としての  
地位を確立し発展

当社は、創業者である原口信夫が東京でセロファンと出会ったことをきっかけに、1939年（昭和14年）、福岡市住吉（現福岡市博多区住吉）に丸東商會を開設し、セロファン網、セロファン紐、ガラス紡紐の販売を開始したことが歴史の幕開けとなりました。

47年（昭和22年）に包装用品の販売を目的とした株式会社丸東商會を設立し、48年（昭和23年）には本社を福岡市博多区祇園町に移転。また、57年（昭和32年）に貿易部（現国際部）を設置し、海外との取引にも動き始めました。そして61年（昭和36年）、単体（ポリエチレン）フィルムの製造を手掛けていた丸東工業株式会社を吸収合併するとともに、商号を丸東産業株式会社に変更。更に同年、福岡市東区に和白工場を新設し、



▲当社製品を使用した商品



▲当社製品を使用した海外商品



▲製袋機



▲印刷で使用するシリンダー



▲押し出しラミネートで使用するポリエチレン原料

単体（ポリエチレン）・複合（ラミネート）フィルムの製造、印刷、製袋の一貫した生産を本格的に開始しました。

その後の主だった歴史を振り返ると、82年（昭和57年）の香港包装器材中心有限公司への資本参加、94年（平成6年）の福岡証券取引所への株式上場、97年（平成9年）の福岡工場新設、99年（平成11年）の福岡県小郡市への本社移転、2001年（平成13年）のコージエネレーションシステム稼働、04年（平成16年）の製版設備増強等が挙げられます。特に、フィルム印刷に必要なシリンダー製造の新鋭設備を04年（平成16年）に投入したことで、生産の効率化が実現したことは大きな転機になりました。

更に当社は、国際標準規格の取得にも着手。08年（平成20年）に品質マネジメントシステムISO9001を取得し、11年（平成23年）には、環境マネジメントシステムISO14001を

丸東産業 株式会社

取得しています。また、社会的な関心が高い環境への対応も図り、09年(平成21年)に約4億円を投じて揮発性有機化合物(VOC)の排出量を削減するVOC回収設備を構築し稼働しています。

**一貫生産体制、高付加価値製品、ワンストップサービス等を強みに事業展開**

創業以来、食品、医薬品、化粧品、トイレタリー用品、工業用品等あらゆる分野のパッケージの製造販売とパッケージ関連商品の販売を行っている当社ですが、その強みの一つに、デザイン・商品企画から製袋まで一貫した生産体制を整えていることが挙げられます。お客様との綿密な打ち合わせを行う「営業」に始まり、売れる商品づくりのためにデザイン提案や商品企画のお手伝いをする「デザイン企画」、そしてあらゆる袋形態のご要望に対応する「製袋」



▲製袋工程の視察風景



▲印刷機



▲スリット工程の視察風景



▲ドライラミネート工程の視察風景

まで、厳重な工程管理と検査体制を基にした一貫生産体制を構築しており、お客様にご満足頂ける品質の提供に繋がっています。特に商品企画、デザイン企画に関しては、全国の営業所網を活用し、最新のトレンドを集約した提案で、多くのお客様のお役に立てると考えております。

次に、開発した多種多様な製品も自慢です。中でも「直進くん」「クリスタルノンPF」「マルトップMLフィルム」は当社の重点製品に定めています。「直進くん」は、袋を手で真っ直ぐに切って開封出来、中身が飛び散る心配がない高付加価値商品です。「クリスタルノンPF」は、滑り性能を向上させたノンパウダーフィルムです。通常、フィルムへ液体等を高速で充填する工程では、装置へ滑らかにフィルムを送り出す為の「粉」が必要でしたが、粉が無くて滑る画期的なフィルムとして開発。粉が異物に間違えられること

や、充填機に粉が溜まって清掃に手がかかることも無くなりました。「マルチトップMLフィルム」は、高速充填性を有し、強度や耐熱性にも優れた万能フィルムです。これらは、いずれも高い機能を有している製品としてお客様にご好評頂いております。

また当社は商社機能を有しており、パッケージ関連全てのワンストップサービスが可能なのも特長です。袋の製造ひとつをとっても、周辺には、トレー、箱、コンテナ、段ボール、充填機、梱包機械、検査機等様々な「モノ」が必要です。当社はメーカー数社との提携関係を基に、これらの殆どのモノを仕入れてお客様に提供することを可能としており、パッケージに関連する分野であれば、何でも対応出来る自信があります。実際に衣料メーカー様から自動のピッキングライン自体を受注したこともありました。

最後に、当社は香港に設立30年



▲チャック付け工程の視察風景



▲当社社屋・工場

を迎える販売商社を有していることも強みの一つです。国内のお客様から香港でのビジネスマッチングを依頼される等、存在感が増してきています。現在は当社国際部との両輪でアジア各地、オーストラリア、中東地域等へ事業を展開しており、海外での販売が売上全体の10%を担っています。もちろん海外進出を考える企業様のフォローも可能であり、今後も海外展開の拠点として位置づけています。

### 重点製品の販売やサービス強化、人材育成で企業力アップを目指す

現在注力しているのは、まず重点製品の「直進くん」「クリスタルノンPF」「マルチトップMLフィルム」の更なる販売強化です。当社製品の主材料に関わる原油価格の水準は、2004年と比較し3.3倍となっていますが、この上昇分を生産効率化で吸収する努力を重ねてきました。今後は、こ

れまで蓄積してきた生産ノウハウを基盤に、お客様が満足してご利用頂けるような高機能フィルムの製造販売を更に推進していく考えです。

この他、香港の販売会社を中心とした「アジア地域への更なる販売強化と国内企業と香港流通のマッチング」に加えて、「ワンストップサービスの一層の充実」、社員一人ひとりに経営の視点を持たせながらお客様への貢献度を認識させる「部門別採算制の導入による全員経営の実現」、スローガンでもある「現状不満足精神」の徹底による事業の発掘・成長等も注力点に掲げています。

また、やりがいのある職場づくりにウエイトを置いています。お客様のご指摘を全社で共有し対応するのは当然ですが、当社では「丸東Thank youイベント」を立ち上げ、お客様からの感謝の言葉や、社員から社員への感謝の言葉等も全社で共有す

ることにより、社員の士気向上を図っています。更に、偉人に学ぶ事を目的に有志が集まる勉強会「寺子屋」研修の拡充にも今後は努力を傾けていく予定です。また、これからの当社を担う新入社員には、身を以て「お客様第一主義」を学び取ってもらおうと、早朝運動として、コミュニケーションの基本である「挨拶」の実践に取り組ませています。

パッケージづくりの根底に流れる  
社会とお客様への貢献という理念

当社の使命・理念は次のように定めています。

「当社の使命」

製品には、パッケージが必ずあります。お客様のパッケージに対するニーズを実現することを常に考え、包装の機能を高め続けることで、人類の豊かな生活に貢献する。

「当社の理念」

お客様第一主義。お客様の商品

が市場で消費者から選ばれる為に、我々はパッケージのデザイン、品質、機能、消費者の利便性を高め続け、商品価値の向上に寄与し、お客様の商品が市場でN.O.1になる為のお手伝いをすることで、お客様の繁栄に貢献する。

従って今後の展望としては、当社の理念である「お客様第一主義」を更に推し進めていく予定です。その理念の遂行の為、当社では今期から「お客様貢献部」を立ち上げました。これは、お客様の

ご要望を一カ所に集約し、全社的にその課題に取り組み

とを目的としています。その結果、全社の機能を活用したサービスによってどんなご要望に対しても「NO」と言わない丸東産業」を実現し、お客様と共に発展出来る企業を

目指します。もちろん常に当社の使命に立ち返り、使命に掲げる人類の豊かな生活に貢献していくことは当然の目標です。

企業像としては「お客様から求められ続ける企業」を目指して、持続的な成長企業でありたいと思っています。これは「社員が安心して働ける企業」であることにも繋がっており、どのような激動の時代にあつても安定性に富む企業として未来へ歩み続けていくと、今、決意を新たにしています。



▲梶島社長

◎インタビューを終えて

パッケージは、商品が消費者の手元に届く時のまさに“顔”です。御社は創業以来、様々な分野のパッケージや関連商品の製造販売により、顧客のニーズに応え続けてこられました。製品を手にとって見ると、その機能や利便性は、一朝一夕になしえるものではなく、製品開発にかかる大変な労苦は斟酌に難くありません。厳重な工程管理や検査体制が構築された工場の見学では、顧客ニーズを満たすことの出来る御社独自の製品が作り出される瞬間を拝見出来、大変感激致しました。

今後も、パッケージ製造を通して、顧客とともに御社がますます発展され、「人類の豊かな生活に貢献する」という使命を果たし続けていかれると確信しております。



福岡銀行  
取締役頭取 谷 正明



トップに聞く!

「くつろぎのごちそう」を皆様へ  
 これからも美味しい  
 お菓子をづくり続ける



株式会社お菓子の香梅  
 代表取締役社長

副島 健史氏

取引店／熊本ファミリー銀行 水前寺支店  
 福岡銀行 熊本営業部

創業の原点、創主の願い

当社は、長年熊本で「誉の陣太鼓」をはじめとする銘菓をつくり続けて参りました。創業者の副島梅太郎は、1911年(明治44年)生まれ。18年(大正7年)に台湾に渡り、12歳のときに同地の菓子屋に見習い奉公に出ます。そこで出会った店主(作家・北方謙三氏の曾祖父森平太郎氏)が、梅太郎の生涯の師匠となりました。46年(昭和21年)、梅太郎は終戦を機に台湾から引き上げ、熊本に移



▲阿蘇西原工場の前で(左から角谷工場長、副島会長、副島社長、林頭取、坂本支店長)

り住みました。復興が進む熊本で製菓業を志し、49年(昭和24年)に現在本社を構える熊本市白山(現・同市中央区)で店を開きます。当初は「副島菓子店」と呼ばれていましたが、創業の翌年には屋号を「香梅」としました。

梅太郎が永年語り続けていたのは、手づくりのお菓子の温かさを通して、世の平和と人々の心の安らぎを願う。お菓子は平和の使者です。お菓子づくりに注ぎ続けてきた情熱や想いは今日、「くつろぎのごちそう」という理念として受け継がれ、当社の原点となっています。

**肥後五十四万石を創作、  
業容も徐々に拡大**

「香梅」としてスタートした50年(昭和25年)、「肥後五十四万石」が生まれます。これは上品な味わいのこし餡を求肥(きゅうひ) (米粉を練りあげたもの)で包み、白いうす種で



▲菓子製造工程の説明風景

挟んだ和菓子で、当社の出世作であり、現在でも製造販売が続く銘菓となりました。54年（昭和29年）には全国菓子大博覧会で金賞を獲得する等、早くから数々の品評会で受賞を重ねて参りました。

また、意外に思われる方も多いのですが、当社は洋菓子の歴史も長いのです。創業時からシュークリームやエクレーア等の洋菓子も製造し、55年（昭和30年）頃からはデコレーションケーキも製造しております。

これらの和洋菓子がお客様にご好評を頂き、徐々に業容を拡大していきました。店舗数も次第に増え、当時の菓子店としては珍しい配達用の営業車も導入する等、営業面にも力を注ぎました。

**代表作「誉の陣太鼓」誕生  
夏場の売り上げアップ  
キャンペーンも**

58年（昭和33年）に、当社の看

板商品である「誉の陣太鼓」が生じます。これは、小豆の中でも最高級と言われる大納言小豆をふんだんに使い、半練り羊羹風に寒天で流し固め、その中に求肥を入れた当社の創作銘菓です。も

ともと陣太鼓とは、戦の陣中において戦士の士気を高め、勝利へと導く為に打ち鳴らされたもの。熊本は江戸期から細川藩の気風を大切にする土地柄で、手柄を立て、栄誉を受け、光栄に思う気持ちがこのお菓子に込められており、その想いが現代でも受け継がれています。創作当初の陣太鼓はザラメを全体にまぶしたもので、

一個一個が手づくり。日産はわずか70個程でした。現在は金色のフィルムを円形カップに成型した自社開発の密封包装（通称「紙缶詰方式」。特許製法）で、豊かな小豆の風味とみずみずしい美味しさを保つことが出来るようになりました。この陣太鼓も当社の人気商品となり、全国菓子大



▲氷柱キャンペーンの陣太鼓



▲和菓子一級技能士による実演



▲肥後五十四万石



▲誉の陣太鼓



▲武者がえし

くつも埋め込み、道行く人にそれを掘り出してもらおうという試みでしたが、これが大成功でした。氷の中の陣太鼓が街行く人々の涼味を誘って、大人も子供も氷を溶かそうと一生懸命。マスコミ等でも取り上げられ、「陣太鼓は冷や

鼓冷やして食べよう氷柱キャンペーン」です。氷柱に陣太鼓をい

博覧会等で数々の賞を頂いてお

場所と言えます。広い敷地内の工場

84年(昭和59年)、自然豊かな阿蘇山麓に阿蘇西原工場(熊本

して食べると、美味しさもまた格別」と評判が立ったことで、夏場に和菓子が売れないという常識を覆したのです。

**自然環境に配慮した阿蘇西原工場、社員の為の育児施設も完備**



▲関連会社で維持・管理を行う古今伝授の間



▲工場屋上に設置した太陽光発電パネルの視察風景



▲企業内保育施設「親互園」

出来るよう、今後も努力を重ねて参ります。

環境面にも配慮し、工場の屋上には太陽光発電パネルを設置。また工場から出る排水は専用の処理設備でろ過し、イワナやヤマメも生息出来る極めて良好なレベルにまで浄化しています。その他にも、敷地内には雨水浸透枳を設けております。こうした取り組みの一つひとつは、「当社のお菓子は、ひとえに自然の豊かな恵みによって作られるものであり、その感謝の気持ちを込めて、自然に返す」という精神に基づいています。

また当社は、子どもを持つ女性が多く働いていることもあり、仕事と子育てを両立させることが重要だと考え、阿蘇西原工場の敷地内に社員の子どもを預かる企業内保育施設「親互園」を併設しております。自然に囲まれた園のグランドは全面芝生で、その周囲に生い茂る木々の中には、お菓子に縁のある植物も植えてあります。

こうした環境の中で、子どもたちは元気にのびのびと育っています。

**伝統を守り、心をうつるおす  
原点に立ち返り、  
これからも歩み続ける**

当社は以前から、お菓子も一つのアート作品だと認識しておりました。4つの店舗に併設したギャラリースペース&カフェ。ここでは、絵画や音楽、造形等とお菓子とが巧みに融合する、一つの世界観を表現しようとしています。絵画を鑑賞したり音楽を聴いたりすることと同じように、お菓子にも人の心を和ませる力があります。様々なアートが融合する場を、お客様と共に分かち合いたいという想いから生まれたものです。

また、水前寺成趣園（じょうじゅえん）にある「古今伝授の間」（こきんでんじゆ）（熊本県指定重要文化財）は、98年（平成10年）から当社が細川家の永青文庫より維持管理を委託されています。建

株式会社 お菓子の香梅

物の中から桃山式庭園を眺めながら、お抹茶とお菓子をお召し上がり頂けます(有料)。

このように、文化や芸術との融合、また四季の変化の中でお菓子によって得られる心豊かな暮らしを支えていくことが重要であり、それが当社の使命とも考えております。

「くつろぎの「ごちそう」という経営理念。たった九文字ではありますが、当社にとつてかけがえのない言葉となっています。「くつろぎ」とは、一生懸命に働いた後に得られるホッとした時間の贈り物であり、「ごちそう」とは、決して高価なものを目指すのではなく、手間ひま掛けてつくられた、心の満足が得られる食べ物と言えます。そのような商品を、当社はこれからもつくり続けて参ります。現在、熊本県内に22名の和菓子1級技能士(国家資格)がおられますが、そのうちの8名が当社の製造スタッフとして働いており、更に、その中の1名は県

内で唯一の女性1級技能士です。和菓子技能士の指導員も3名在籍し、お菓子づくりの技術伝承や人材育成に日々努めております。

将来の展望について、何か特別なことを目指すつもりはありません。当社が熊本で商売をさせて頂いている意義を確認し、原点回帰すること、その一念です。不透明な時代だからこそ、一番必要なことではないでしょうか。

おかげ様で、看板商品の「肥後五十四万石」「誉の陣太鼓」は販売開始から半世紀を越え、誉の陣太鼓は通算5億個を超えました。パイ生地と餡を融合させた「武者がえし」も発売から30年以上経って、今なお高い人気を頂いております。これからも今までの以上に熊本にしっかりと根を下ろし、地域と共に歩みながら、創業者をはじめ、これまで勤めて頂いた多くの社員の想いや業績を忘れることなく、全社員一丸となって努力していく所存です。



▲阿蘇西原工場外観



▲副島社長

◎インタビューを終えて



熊本ファミリー銀行  
取締役頭取 林 謙治

「肥後五十四万石」や「誉の陣太鼓」等、半世紀以上にわたり親しまれる銘菓を生み出し、今や熊本を代表する老舗の菓子屋としてご活躍されています。本日、副島社長様と会長様のお話をお伺いした中で、地域との共存を大切にされ、県重要文化財の維持管理に取り組まれている姿勢や、創業時の菓子づくりへのこだわりと情熱をひたむきに受け継いでおられる経営努力を伺い、これら御社のご尽力が、現代でも幅広い世代に愛され続けている理由なのだ実感致しました。

今後も、変わらぬ美味しさを多くの皆様にお届け頂き、御社が更なる発展を遂げられることを大いに期待しております。



トップに聞く!

「より高く」「正直は最良の施策なり」  
 変わらぬ理念を守りながら、  
 次代の技術情報商社へと進化を目指す

株式会社橋本商会  
 代表取締役社長

橋本博文氏

取引店／親和銀行長崎営業部  
 福岡銀行長崎支店

140年の歴史は、  
 時代ごとのニーズに対応した  
 「企業変身」の歴史

当社は、中津藩士だった初代、  
 橋本雄造が明治維新を機に商人  
 を志し、新天地の長崎で1872  
 年(明治5年)に開店した「中津  
 屋橋本商店」において、洋鉄、洋  
 釘、船具、機械類等の輸入や古鉄  
 類の商いに乗り出したことに始ま  
 ります。初代はその後、幕末に武  
 器商人として活躍したトーマス・  
 グラバーからサルベージ技術を学



## 株式会社 橋本商会

んで、日本のサルベージ業のパイオニアとなり、大型沈没船の引き上げで大成功を収めました。また、長崎市議会議員、県議会議員、衆議院議員、貴族院議員としても活躍し、長崎商工会議所の設立にも尽力しました。

1897年(明治30年)には2代目の橋本辰二郎が社長に就任し、漁業や海運業にも進出。長崎商工会議所会頭や貴族院議員を長年務めました。台湾(中華民国)建国の父とされる孫文とも交遊があり、当社特別応接室には今でも同氏から頂戴した「博愛」の額が掲げてあります。

3代目の橋本行正は1921年(大正10年)、資本金50万円で株式会社橋本商会を設立し、当社体制の充実を図りました。

4代目橋本和太八は、昭和10年代に中国で本業とともに製菓業や飲食業等で莫大な富を築きましたが、敗戦とともに海外事業や海運業等ほとんどの事業が壊



▲孫文直筆の「博愛」の前で(左から小幡頭取、橋本社長)

滅し、資産も消失。長崎も原爆によつて焼け野原状態となりましたが、戦後大村海軍航空廠跡（うらうしやう）での古鉄回収や鋼材の取り扱ひ等により「鉄の橋本」と呼ばれ、復興に寄与しました。その後、造船不況により厳しい時期もありましたが、子会社を設立しレジャー産業や飲食業の新規事業によって、人員整理することなく危機を乗り切りました。

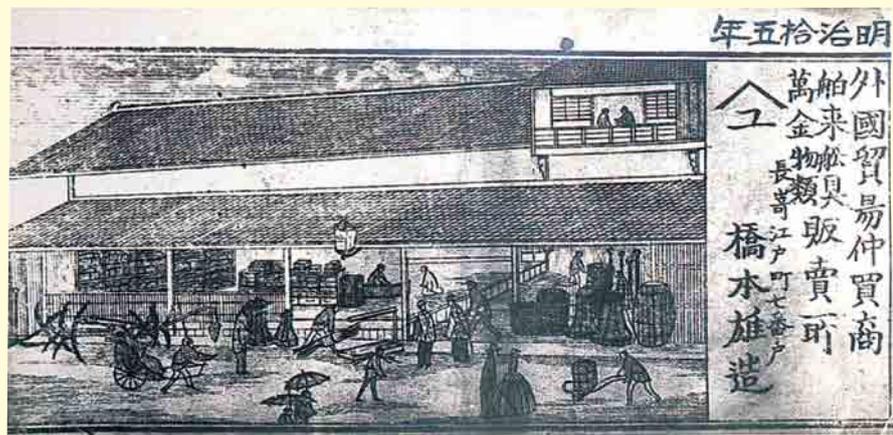
5代目の橋本寛は、時代の変遷を素早く察知して古鉄及び鋼材部門を廃止し、「技術情報商社」への変革を実現。産業用機械機器・電気機器の販売に加え、システム販売が出来る陣容を整えました。また、保有資産の有効活用を目的に不動産部門を設立して、安定した収益源を確立しました。

2006年(平成18年)には、6代目として橋本博文が社長に就任しました。近年ではIT関連事業の強化に加え、省エネ・新エネルギー

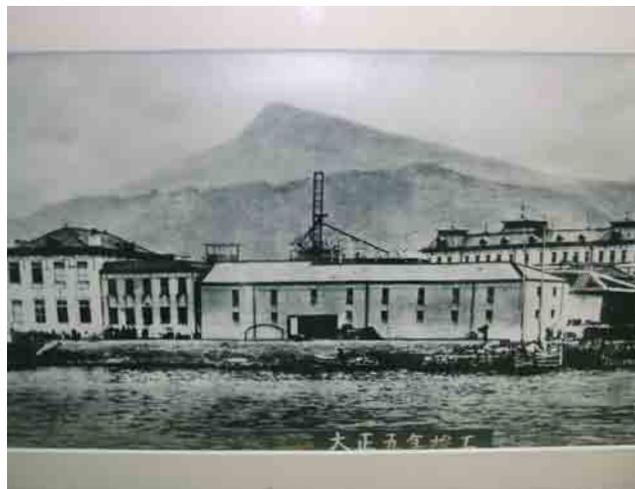
ギー分野の新商材販売や健康食品販売等の新規事業も立ち上げ、更なる躍進を目指しています。

### 基本理念と4代目社長訓

当社では基本理念、あるいは社員の行動指針を「Excellisior」と「Honesty is the best policy」と定めています。excellisiorは、「現状に満足することなく改革向上し続ける」姿勢を、またHonesty is the best policyは、「誠実にこそ商売の要」という創業より受け継いできた当社の商売理念を表現しています。これに加えて「Quick Response」、つまり「迅速に対応すること」を行動基準としています。常に「心配り・心配り」に留意しながら誠意を持って製品・情報・サービスをご提供するよう心掛け、様々な



▲明治15年当時の中津屋橋本商店の様子



▲原爆被災前の本社



▲初代 橋本雄造



▲二代目 橋本辰二郎



▲三代目 橋本行正



▲四代目 橋本和太八



▲五代目 橋本寛  
(現・代表取締役会長)

株式会社 橋本商会

ニーズに即応出来る「技術情報商社」でありたいと願っています。

当社では4代目 和太八が作った次のような社長訓があります。

- 一、人は虚言をいわぬ事
- 一、人に迷惑をかけぬ事
- 一、無理な利を望まぬ事
- 一、常によいことをするよう心がける事

一、人は努力家である事  
 全社員の机の上には葉書大のこの社長訓が置いてあり、一人一人が当社理念の徹底を図り、自らの行動に反映させるとともに、地域の模範的な社会人たるよう心掛けております。

誠実を基とする企業風土の上に成り立つ「技術情報商社」

当社140年の歴史は、初代より「誠実」「信用第一」を心掛けた企業活動によって得られた足跡であり、この間に培われた信用は何ものにも代え難い財産と認

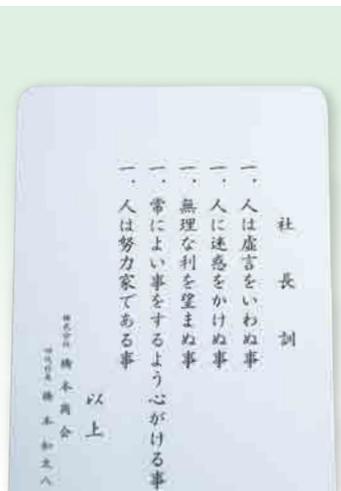
識しております。そしてこの企業風土は今も当社に連綿と受け継がれており、これからも受け継いでいかなければならないものと思っております。

当社は「技術情報商社」を標榜しています。単に製品を仕入れて販売するだけではなく、一人一人の営業マンがメーカー研修や国家資格取得等により、技術的なスキルを身につけ、お客様のニーズを的確に掴み、最適なご提案を行うといった、より付加価値の高いサービスの提供が出来るよう人材育成に注力しています。

主要得意先として三菱重工業様、三菱電機様、九電工業様、官公庁様等、しっかりした企業や組織とお取引させて頂いています。また仕入メーカーについても、三菱電機グループ様をはじめ、パナソニックグループ様、東芝関連企業様、トヨタ関連企業様、丸紅関連企業様等、日本を代表する企業も多く、そうした企業の代理店・



▲現在の本社(橋本商会ビル)



▲4代目社長訓



▲基本理念



▲六代目 橋本博文(現・代表取締役社長)



▲ISO14001認証



▲倉庫見学風景

販売店として信用あるお取引を  
させて頂いていることも当社の強  
みであると考えております。

### 新市場や新商材の開拓、 そして人材育成を次代の 企業発展の礎として

現在注力していることの一つ  
に、「新しいものへの取り組み(新  
市場・新商材の開拓)」がありま  
す。今年で3年目となる、梅の種  
を原料にした「サプリメント」を  
はじめ「石けん」「化粧品」の企画  
販売はその代表例です。

古来より健康増進食品として  
愛用されてきた梅干しですが、そ  
の種や種の中の「仁」には、食物繊  
維やミネラル等の栄養素が豊富に  
含まれています。当社のサプリメ  
ント商品「梅の力源」は、厳選した  
紀州みなべ産「南高梅」の梅干し  
の種を原料として、長崎で天日干  
して成分を凝縮させた後に、品  
質マネジメントシステムの国際規

格であるISO9001を取得  
した国内専門工場で、殻から仁ま  
で丸ごと微粉末化後カプセル化  
したもので、豊富な栄養を手軽に  
補うことが出来る健康食品です。

同じく梅の種を原料に使用してい  
る石けん「ながさき梅しゃぼん」、  
化粧水「つるつる梅しずく」等と  
ともに、長崎市油屋町の自社アン  
テナショップや提携店舗での直販  
と当社通販サイト「長崎ありがと  
うございます」で取り扱っていま  
す。今後も販売戦略の検討・改善  
を行い、オリジナル商品としての  
定着を図っていく考えです。

既存営業部門でも、顧客のニー  
ズに合わせた「省エネ」「新エネル  
ギー」に関連する新商材である太  
陽光発電装置、インバーターや  
LED照明等の各種製品を販売  
しており、今後の注力すべき商材  
と位置づけています。

また、当社における財産は「人」  
であるという想いに立脚した「社  
員教育を通じての人材育成」も



▲梅の力源(カプセル)



▲梅の種の天日干し風景



▲左から小幡頭取、橋本社長、八起長崎営業部長



▲梅の力源(通販用アルミパック)



▲ながさき梅しゃぼん



▲梅の力源(詰め合わせセット)

重点ポイントと考えております。社員のレベルアップを図るべく資格取得を推奨しており、多くの社員が施工管理分野の資格取得に挑戦しています。今では、1級電気工事施工管理技士が8名、1級土木施工管理技士が2名、1級管工事施工管理技士が1名、1級造園施工管理技士が1名おりますが、このような専門知識や技術を持った社員が営業を担当することで、得意先はもちろん仕入れメーカーからの信頼の獲得に繋がっています。経済のグローバル化にも対応する為、新入社員クラス、幹部社員クラス等週3クラスの「英語教育」も実施しています。TOEIC受験も勧められており、昨年の検定試験では社員の中から900点・800点以上が各1名ずつ認定されました。当社認定の資格取得に関しては、受験、専門学校での学習、教材購入等にかかる費用を当社で全額補助するとともに、資格取

得者には毎年恒例の社員表彰の際に金一封を贈呈する等してモチベーションを高めています。この他OJT、多様な社員教育やメーカーが開催している研修への参加、全国での展示会参加や海外視察等のプログラムを随時実施しています。

### 先人の姿勢を手本に これからも次代を見据えた イノベーションを実行

創業より様々な商品販売、サービスを業としてきた当社ですが、戦後は長崎を中心に九州圏内の企業や官公庁を主要な顧客として、主に産業用機械機器等の販売を行って参りました。しかしお取引先の事業環境の変化や人口減少等の影響は大きな懸念要因であり、既存事業だけでは企業運営の継続は困難と考えています。これからは既存のマーケット以外の市場や一般消費者をターゲットに

した市場も視野に事業展開を進める考えです。

梅をベースにした健康事業以外にも、グループ会社での古着リサイクルのFC加盟や駐車場関連事業、新商材の開発による市場開拓等、新規事業を模索しています。既存事業でも新しい商材、仕入先を探し、既存顧客への深耕を図るとともに、総務部に今年再編したITグループでの企画開発を推進していく他、安定した収益を継続している不動産事業も更に力を注いでいきたいと思っています。

「企業変革の歴史」とも換言できる140年の当社の軌跡。激動の時代と称される現代は、まさに企業変革を行う絶好のタイミングです。今日の当社もかつての諸先輩によるイノベーションに倣い、時代のニーズに合わせた新商材の開拓、新業態への変化に果敢に挑戦し、次世代への継承を行っていきたくと考えています。

### ◎インタビューを終えて

140年の歴史をお持ちの橋本商会様は、これまで数々の困難を各時代のニーズに即応して乗り越えられ、地域にそして社会に貢献してこられました。また、専門知識や技術の習得に向けた人材育成に注力しておられる様は、誠実と信用第一を常として企業活動に勤しんでこられた御社の事業に対する姿勢そのものの現れであると感嘆致しました。

御社の先達がそうであられたように、今後も時代のニーズを捉えるイノベーションを実現され、社会に求められ続ける企業たらんことを期待致しております。



親和銀行  
取締役頭取 小幡 修

親和銀行



# 「親和銀行新頭取小幡修就任披露パーティ」を開催致しました。

親和銀行(以下、当行)は今年4月、新頭取に「小幡修」おほた ちかおが就任致しました。就任を記念し、佐世保・長崎の2つの会場で就任披露パーティを開催致しました。今回は、7月11日に佐世保で行われたパーティの様をお伝え致します。

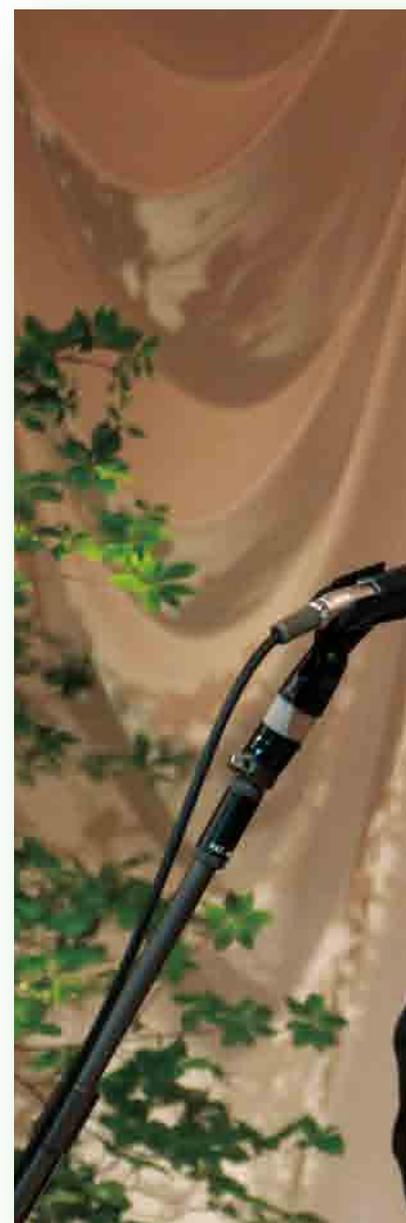
「地元で働ける喜びを原動力に、地域に貢献したい。」

平成24年7月11日(水)、新頭取の就任披露パーティをホテルオークラJRハウステンボス(佐世保市)で開催致しました。

会場では、親和銀行の役員はもちろん、ふくおかフィナンシャルグループ(以下、FFG)会長兼社長谷正明をはじめ、FFGグループの役員30名が、長崎県北部や福岡・佐賀・東京等からお取引先をお迎え致しました。当日は、あいにくの雨にもかかわらず、800名を超えるお客さまにお越し頂き、盛大なパーティとなりました。

新頭取の小幡は、パーティ冒頭の挨拶で、「今ご縁をいただき、出身地である長崎県で40年振りに仕事が出る喜びを感じている。頭取としての重責には身の引き締まる想いだが、全身全霊で経営に取り組み、今後もお客様からの信頼





を得て、お客様と共に地域の発展に力を注ぎたい。」と決意を述べました。

挨拶の後、会場はFFGグループとご来場者の皆様とが懇親を深める場となりました。

ご来場頂いたお客様には、今回のパーティーの記念品として当行オリジナルのギフトカタログをお渡しさせて頂きました。

このカタログは、陶器や食品等の長崎県産品をご準備させて頂いたもので、地元長崎県を愛する小幡のこだわりでもあります。

### 〜FFG設立5周年の節目を迎えて〜

今年、FFGは設立5周年を迎えます。ブランドスローガンである「あなたのいちばんに。」を実践すべく、新頭取小幡のもと役員一同、日々の業務を遂行するとともに、地元の企業様の様々なニーズにお応え出来るようグループ全体で一丸となって邁進して参ります。

今後とも、親和銀行並びにふくおかフィナンシャルグループに変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

(岡野 美沙子)

# 「お茶で農商工連携」

九州発 お茶による九州経済の活性化とお茶文化の創造



一般社団法人  
お茶結びプロジェクト  
理事長 徳永 睦子 氏

## はじめに

私達の食卓に届く緑茶は、長い歳月とたくさんの人たちの愛情に育まれて美味しいお茶になります。なだらかに広がる美しい茶畑は、日本人のお茶に対する愛情の深さを象徴しているようです。そんなお茶の魅力にとりつかれて「CHA CHA CHA COOKING」を自費出版し、私が「お茶と健康と料理」をライフワークとしてやがて40年近くなります。

しかし21世紀を迎え、地球環境の変化や我が国における少子高齢化など社会構造は大きく変化しました。そして高度成長と共に経済的には豊かになった反面、長年培ってきた日本人が誇れる伝統と文化を失いつつあることが懸念されています。一方、世界的にはお茶に対する注目度が高まるなかで、残念かな、当の日本では若者には、古い飲み物、あるいは知らないがために、新しい飲み物に思われているのも現実です。

私達はこのたび、伝えられた食文化や緑茶文化を伝えるために積極的な交流を国内外で進めていき、情報発信を目的に「一般社団法人



▲長崎市油屋町



▲嬉野の茶畑風景

お茶結びプロジェクト」を組織化し、活動することとしました。

## 日本のお茶文化発祥の地九州とその歴史

お茶には日本人が誇れる伝統と文化があります。そのルーツは九州とのかかわりが深い。中国の宋より帰朝した栄西の上陸地平戸、日本茶栽培の発祥の地「東背振山」、博多には茶祖栄西が開山した日本最初の禅寺「聖福寺」、八女茶発祥「靈巖寺」、豊臣秀吉とかかわりの深かった博多の豪商「神屋宗湛」、煎茶を「道」にまで高めた高邁な志の人、佐賀の「高遊外売茶翁」、又幕末には日本茶を初めて輸出した長崎の女性貿易商「大浦慶」など感動深い歴史、文化があります。

茶産地としても九州各地に今も日本有数の茶どころを抱えています。生産量では日本第2位の鹿児島、八女、嬉野、東彼杵、霧島、熊本など九州でまとまると日本一の大産地です。

## お茶の消費状況と課題

この40年の「緑茶の用途別原料使用状況」を見ると、お茶はリーフとして飲むだけでなく、むしろドリ

ンク用の使用量や加工原料への使用量が圧倒的に増えています。

しかし肝心なリーフでの使用状況を見ると、約半量に減少し、若年層では茶葉として買う人が激減しています。(表1)

日本人の味覚を育んできたはずのお茶の消費量が減り、急須のない家庭が増えてきています。(表2)

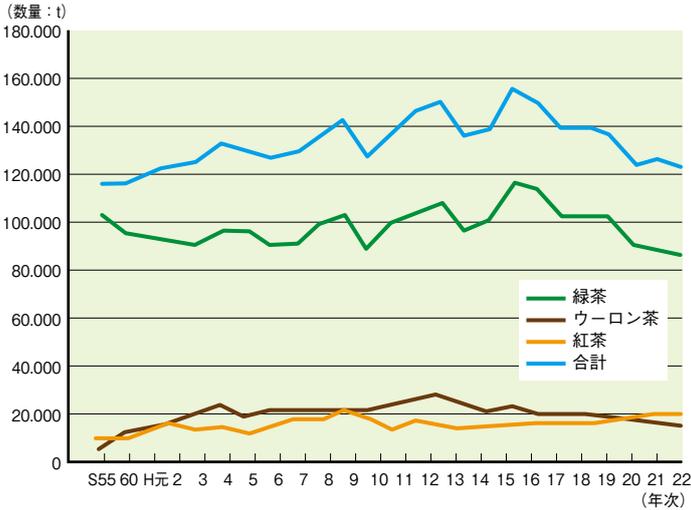
飲む人を育てることが急務で、茶業界の課題でもあります。

それには昨年4月に施行されたお茶の振興に関する法律にもあるように、茶文化に根ざした日本の食と日本人の精神や文化を復興させ、実りある国作りと豊かな国民生活の実現に本気で取り組むことが大切かと強く思われます。

## 日本茶の効能

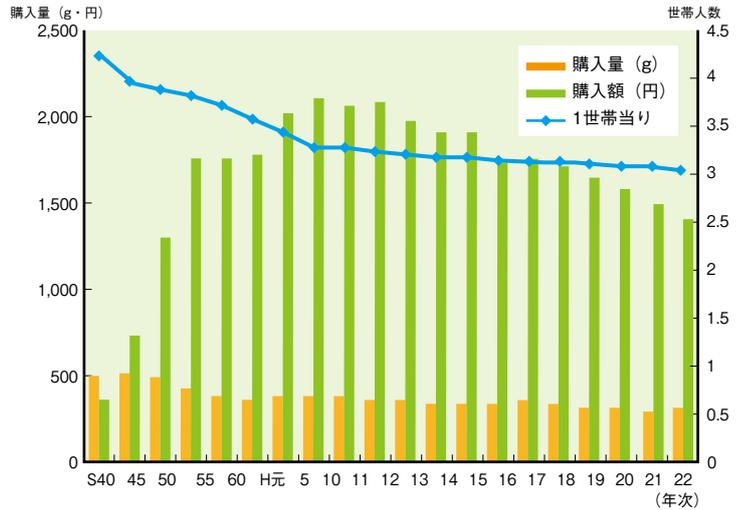
ごく自然に口にしていらっしゃるお茶は、日本人の暮らしにとってかけがえのない、ゆとりの時間を生み出してくれます。

アジアで育まれたお茶は、人々の暮らしに深く馴染み、精神文化や芸術にも大きな影響を及ぼしてきました。そして今日、お茶の効能や文化的価値が海外にも知られるに



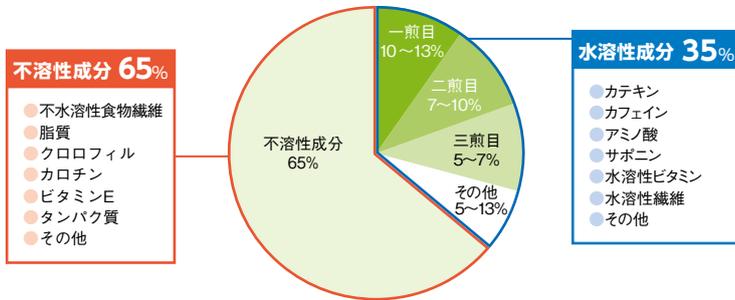
注) 緑茶は、国内供給量(国内生産量+輸入量-輸出量)を、紅茶及びウーロン茶は、輸出量の区分分け出来ないため輸入数量をそれぞれ消費量とした。

▲表2 茶類の国内消費量の推移



注) 総務省家計調査による。1人あたりの購入量及び金額は、一世帯あたりの購入量及び金額を世帯人数で除したものである。

▲表1 緑茶購入量の推移



▲表3 緑茶の成分

つれ、お茶に対する関心は全世界的な広がりを見せつつあります。お茶はその歴史をたどってみると、もともとクスリでした。お茶の発祥の地、中国に、その昔、「神農」と呼ばれた、漢方医学の祖である中国古代の伝説的「神」がいました。神農は、ありとあらゆる草根木皮の中から薬効を探し出そうとして山野を駆けめぐり、採っては自ら食べて薬効を確かめ、毒にあたると、そのつどお茶の葉で解毒したと伝えられています。

これは中国の唐の時代の文人、陸羽によって著された初めてのお茶の専門書『茶経』にでてくる伝説ですが、この本には、他にいろいろなお茶の効能が記述されており、当時の料であったことをうかがわせます。

日本にお茶が伝えられたのは、平安初期（800年頃）、最澄、空海、永忠など、唐に渡った僧侶たちが、クスリとして持ち帰った時とされています。そして、日本における喫茶の実質的な始祖とされる鎌倉時代の禅僧、栄西は「茶は養生の仙薬なり 延命の妙術なり」という、お茶の効用として有名な言葉を

『喫茶養生記』の中に記しております。その後、わび、さびなどに象徴される茶の湯（茶道）も確立され、日本文化の原点のひとつにもなったお茶は、庶民に欠かせない「日常茶飯」の飲み物へと、変遷を重ねていきます。主食としてのご飯、そしてそれを支える飲み物としてのお茶、という組み合わせで、長寿世界一の秘密として注目されている「日本型食生活」が形成され、今日に続いているのです。

お茶はまさに心を癒す「カルチャー」、体を癒す「サイエンス」。両方を兼ね備え、日本人の人間形成に大きく関わってきたと言っても過言ではないでしょう。

**飲むお茶から 食べるお茶への変革**

日本人が昔から親しんできたお茶は、今や、飲むだけでなく、食べるものとして、少しずつそのスタイルを変えつつあります。ハーブ同様、飲んで食べられるスーパー緑黄野菜として世界的にも注目を集めているのです。清々しい色と香りの中に、たくさん機能性を秘めたお茶を上手に、おしゃべりに、毎日の食生活を



▲しづく茶



▲八女市星野村 茶の文化館

中に生かしたいものです。

お茶には代表的に3つの主要成分があります、カテキン、カフェイン、テアニンです。それぞれ学会では保健的効能が発表されていますが、食材としてのお茶の魅力は効能を上手に引き出したお茶料理にあります。(表3)

一煎、二煎、三煎飲んでも1/3の成分しか摂取できない、残りの2/3の成分は不溶性成分として茶ガラに残るならば、丸ごと飲んで食べることも考えるべきではないでしょうか。

### 自分流…お料理を通じて伝えたいお茶の文化とサイエンス

私はお茶を食材細見したとき、お茶に関する数多くの論文発表や、学者の先生方の研究成果を家庭のキッチンにまで落としこんで料理という形で紹介できないかと考えました。

お茶料理は、効果効能や特性を理解したうえで、目的をもってお茶を使うことをテーマにしています。例えば茶カテキンの抗菌作用をいかして、魚や肉の下処理や魚加工品への酸化防止利用。魚肉や畜肉飼料に緑茶抽出物を活用することで、安全性が高く、本来の味を損なわない、食品作りを提唱し、実現したの

が、当時三池農業高校の金子先生の協力を得て、カテキン鶏、カテキン卵として生まれたのもそのひとつです。通常のブロイラーとカテキン鶏の飼育13週間後の体脂肪の比較、過酸化物質、官能テストなどにおいて有意性が見られたのは、キッチンサイエンスとしてお茶のパワーを実感したテストでした。楽しいお茶の商品開発として、私が提案させていただきました八女市星野村の「しづく茶」においては、ずいぶん各地で究極のお茶の楽しみ方として、普及活動もし、今では全国に「玉露振興会」も活発になり、各地で「露茶」「すすり茶」として知られるようになりました。玉露ほどの高級茶は飲んだ後、食しても良く、まさに飲んで、食べて、癒されるお茶です。

私がしづく茶と一緒に20年前に開発・商品化した「ちゅう茶」は焼酎用のお茶として、愛飲していただいています。現在お茶には様々なバラエティーがありますが、将来さらに品種改良されて、色やより機能性の高いお茶や、もっと柔らかく野菜感覚で食べられるお茶、料理素材として適する品種が誕生するのではと楽しみにしています。



▲第1回「聖福寺献上茶壺道中」

## お茶で九州をひとつに結ぶ

昨今の茶業を取り巻く環境、日本文化、産業の伝承も厳しいのが現状かと思われまます。今まさに伝える努力、見直しによる原点回帰、次世代を背負う子どもたちへの「食育、茶育」の重要性が唱えられています。

NPO法人「日本茶普及協会」では1年目は、福岡市博物館にて「茶育でつくる子どもたちの未来」としてフォーラムや、食育イベント、お茶の淹れかた親子体験などを行い、九州博物館でも、秋の口切りの儀やふるまい茶の催事を行いました。

昨年10月7、8日は第1回「聖福寺献上茶壺道中」を開催。これは九州茶主要産地市町村協議会の協力を得て、各地様々な栽培、生産技術、製茶技術を持つ九州の茶産地から其々の特徴のある茶を茶壺に入れ、茶祖／栄西禅師が建立した日本最初の禅寺「聖福寺」（福岡市博多区御供町）までを茶壺道中で練り歩き奉納する。博多駅までは九州新幹線を使い、同駅前からは茶壺を茶駕籠にのせ約2kmを40分かけて総勢100人程度の行列をつくり運ぶ。また、九州のお茶文化

PRのために博多駅前と聖福寺境内では、おもてなしの茶席を用意し九州各地のお茶やお茶関連商品の販売を行いました。

当企画は、九州のお茶の消費拡大と普及、子供たちの教育等を九州全体が一丸となって推進し、その起爆剤となることを願うものであります。

本事業の恒例化によって、九州の茶産地の結束力を高め、日本のお茶文化発祥の地「九州」を広く知らしめ、九州の人々がその文化的な資産価値に誇りを持ち、お茶文化に対する意識を高めることで九州のお茶と伝統産業の復興を図る糸口になりえるのではないのでしょうか。

もって、お茶の消費拡大とその関連する伝統的な食文化・産業を国内外への浸透を図ることを目的に活動をして、各茶生産地及び九州経済全体の活性化の一助とし、同時に、お茶文化に溢れる九州の「ティーロード観光」「学ぶ・交流する・体験する」をネットワーク化し、併せて九州経済の活性化を図りたいものです。

いずれは世界の日本文化への関心度の高い人、茶業関係者やお茶愛飲家が九州一円に集う、お茶の世



## 日本茶再発見

少し前まではスローフード、ヘルシー志向の高まり、そして今、海外からの旅行者が増えていることもあるのか和文化が流行の兆しを見せています。東京、京都、大阪では日本茶を提供するカフェも次々にオープン。いずれもモダンな店づくりで馴染み深い日本茶の新しさを提供する店舗が増えています。きっと福岡でも増えることでしょう。

界見本市の誘致へと繋げ、まさに「お茶で九州をひとつに結ぶ」第一歩にしたいものです。お茶が、新たな農商工連携の幕開けのための起爆剤となることを願っています。

### 茶育の未来.. 食育・茶育の大切さ

一家団欒の場所が茶の間からリビングへと姿を変えていく中で、お茶の登場する機会が少しずつ減っていることは、とても残念なことです。普段なかなかゆつくり話ができない親子や家族、時にはお友達と向かい合ってお茶を飲むと一緒にいられる幸せを感じるだけでなく、人生で大切な人と人のつながりを教わるこゝとが出来るとは思いませんか。日々の食卓を大事にし、その中で一杯のお茶を飲みながら家族と語らうことがひいては世の中の平安を育むものと思います。相国寺派管長有馬頼底先生のお筆の短冊で「一盃生平和」（いちわんへいわをうむ）む）..

一服の茶が心を和ませ平和を生む。茶の湯の精神は「千里同風」であり、茶を喫するところにも、人類の平和への願いがこめられている。とご説

明が書かれてあります。書かれたその言葉に私は深く感じ入り、あらためてお茶の道を極める甲斐を思いました。お茶を学ぶ楽しさの一つに、こうした言葉との出会いがあります。禅の世界には「且座喫茶ちうざか」という言葉もあります。また私のふるさと鹿兒島では方言で「お茶いっぺ」という言い方をします。どちらも「まあ、お座りなさい。お茶でもいいかが」という意味ですが、その根底には一杯のお茶がただ喉の乾きを潤すだけでなく、人の心を育むという教えがあり、私はいつもそれを大切にしたいと思っています。生産者でも業者でもない私ですが、お茶を飲む人を育てなければ次世代へつなぐことはできないのではないかと案じています。これからも微力ですが、お茶のある豊かな生活をすすめていきたいと願っています。茶の間の力を今、もう一度見直し、お茶の時間で家族、日本の元氣を作りたいものです。それには、熱い思いと考えを同じにする仲間、まさに「茶育指導士」を養成し、草の根運動こそが人作り、将来の「日本人らしい人育て」につながると思います。茶育指導士の活躍を期待したいものです。

# Data Contents

	<b>経済動向</b>
31	■ 九州の鉱工業生産動向
32	■ 福岡県の最近の経済動向
34	■ 熊本県の最近の経済動向
36	■ 長崎県の最近の経済動向
38	■ 佐賀県の最近の経済動向
	<b>経済指標</b>
40	■ 全国のデータ
41	■ 福岡県のデータ
42	■ 熊本県のデータ
43	■ 長崎県のデータ
44	■ 佐賀県のデータ
45	<b>海外拠点紹介</b>



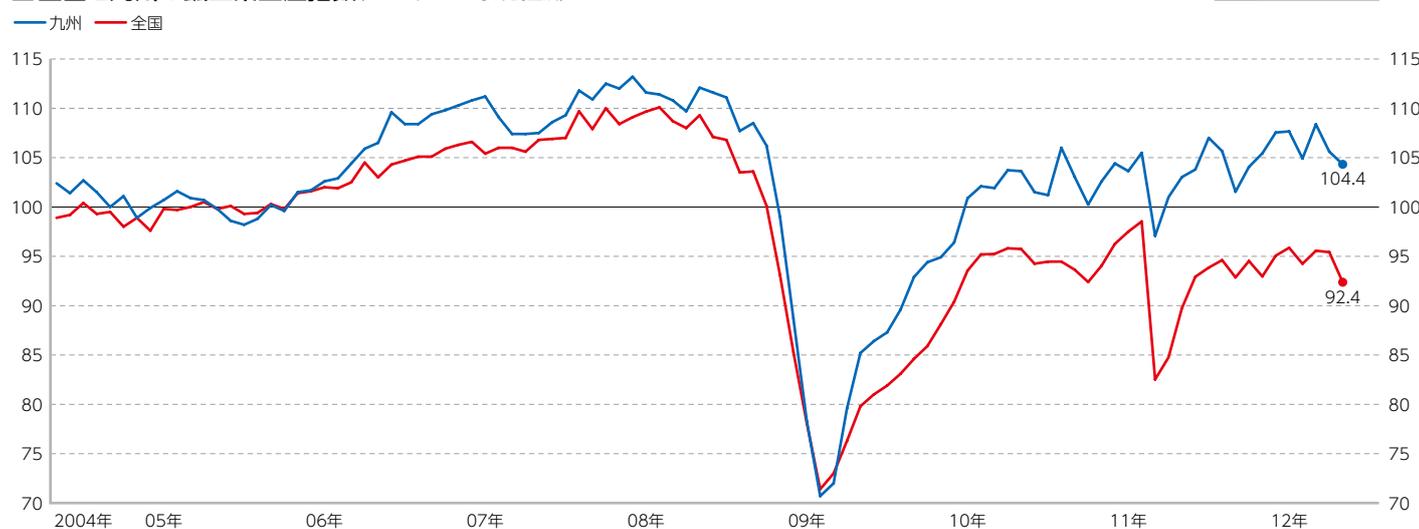
## 九州の鉱工業生産動向

### 基調判断 | 生産は横ばい傾向

2012年5月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、一般機械や海外向け産業用ロボット等が好調だった一方で、化学や電気機械が、生産設備のメンテナンスにより減産となる等、前月比1.2%低下の104.4と2ヵ月連続で低下しました。主力の輸送機械や電子部品・デバイスに大きな変化はなく、生産指数は横ばい傾向となっています。

■全国と九州の鉱工業生産指数(2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局



### 業種別動向 | 一般機械、金属製品が上昇した一方、化学、電気機械が低下

業種別の寄与度をみると、海外向け石油精製プラントや海外工場向け産業用ロボットが増産となった一般機械の他、公共工事向けの橋梁や鉄骨が増産となった金属製品が上昇した一方で、化学がプラスチック原料の生産設備、電気機械が太陽電池部品の生産設備において定期メンテナンスがあった為に低下し、マイナスとなりました。

■業種別寄与度(鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



## 福岡県の最近の経済動向

### 福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

生産活動については、鉄鋼が一部工場のメンテナンスにより減産となり低下したものの、自動車生産が好調な輸送機械や一般機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

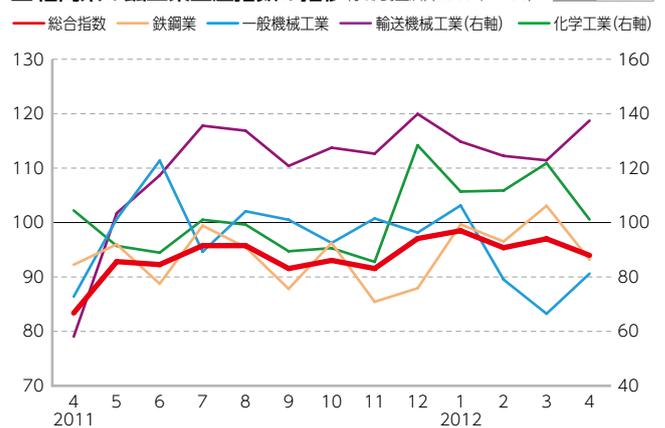
消費面では、大型小売店販売額は、衣料品が低調だったものの、高額商品等に動きがあった他、店舗数が前年比で増加していることにより、前年並みの水準となっています。住宅建設は、福岡市西部で貸家が増加したことにより、前年を上回りました。

### 1. 生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は94.0となり前月比2.9%低下しました。

主要業種では、前月増産となった医薬品の反動減があった化学や、一部工場で定期メンテナンスがあった鉄鋼が減産となった一方で、エコカー補助金を背景に自動車生産が好調な輸送機械に加え、産業用ロボットが増産となった一般機械が上昇しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県



### 2. 大型小売店 | 販売額は前年並みの水準

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.1%増の550億円で、3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

衣料品が振るわなかったものの、高額商品や化粧品、旅行関連商品に動きがあった他、スーパーの店舗数が前年比8店舗増加したことにより、販売額合計は前年並みの水準となりました。

■ 福岡県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局





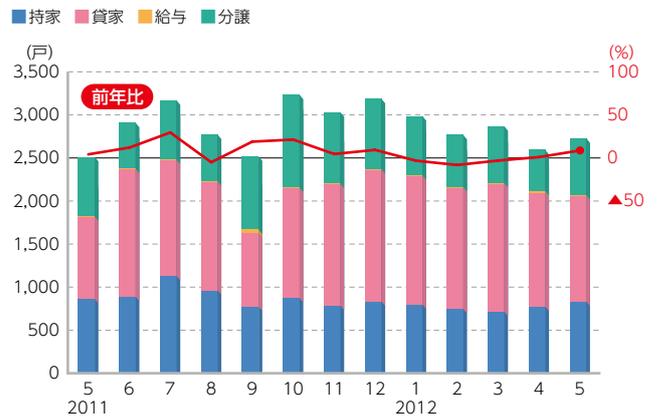
### 3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、2,727戸と前年同月比8.6%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。

持家、分譲がともに前年並み水準を維持したことに加えて、貸家は、福岡市西部の地下鉄沿線を中心に好調な着工が続いており、全体で前年を上回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



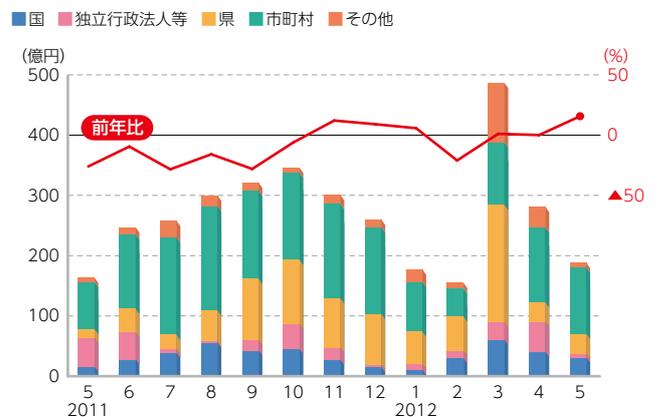
### 4.公共工事 | 請負金額は3ヵ月連続で前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比40.8%増の445件、金額は同15.2%増の188億円となり、請負金額は3ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、「独立行政法人等」が減少した一方で、下水管の敷設工事等の大型案件があった「市町村」の他、「国」、「県」も増加しました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



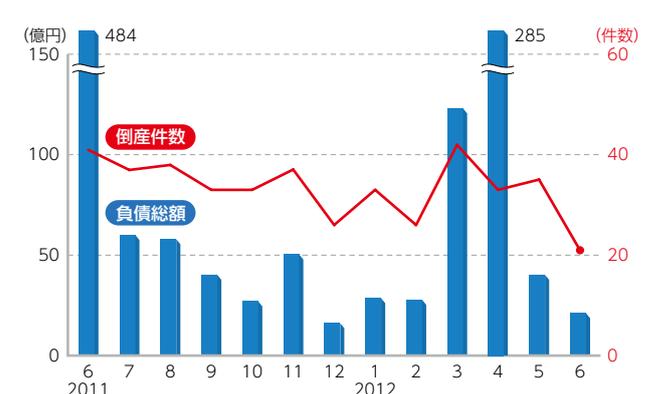
### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比48.8%減の21件、負債総額は同95.7%減の21億円となりました。

製造業で約5億円の大型倒産があったものの、金融円滑化法の効果等により倒産件数が低水準となったことや、前年に400億円を超える大型倒産が発生したことから、負債総額は前年を下回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 熊本県の最近の経済動向

### 熊本県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いているものの一部に減速傾向が見られる

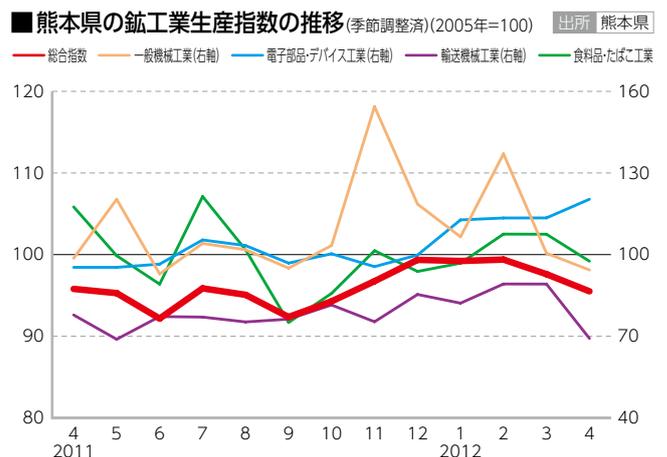
生産活動については、スマートフォン向け半導体集積回路が好調を維持している電子部品・デバイスが上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いていますが、産業用ロボットが減産となった一般機械や輸送機械が低下しており、一部業種に減速傾向が見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、高額商品に動きがあった他、新店舗開店効果により前年を上回っています。住宅建設は貸家を中心に好調を維持しており、前年を上回りました。

### 1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で低下

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.7となり、前月比2.0%低下しました。

主要業種では、電子部品・デバイスがスマートフォン向け半導体集積回路の好調により上昇した一方で、産業用ロボットが減産となった一般機械や、輸送機械が低下しました。



### 2.大型小売店 | 3ヵ月連続で前年を上回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比1.0%増の130億円と、3ヵ月連続で前年を上回りました。

衣料品が低調だったものの、高額商品に動きがあった他、昨年7月のスーパー開店効果もあって飲食料品が増加する等、全体としては前年を上回っています。



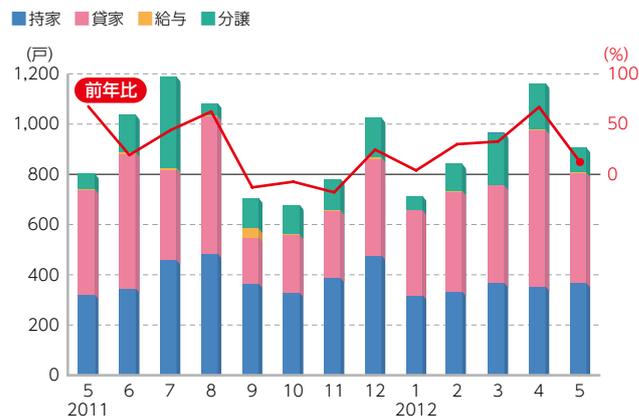
### 3.住宅建設 | 6カ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比12.7%増の905件と6カ月連続で前年を上回りました。

分譲が、マンションの在庫調整の進展により引き続き好調な他、貸家が熊本駅周辺の賃貸需要の活発化により増加する等、全体でも前年を上回っています。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



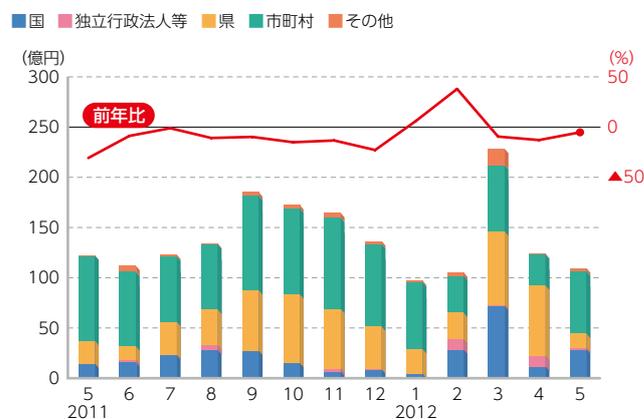
### 4.公共工事 | 請負金額は3カ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比4.5%減の213件、金額は同5.7%減の109億円となり、請負金額は3カ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、トンネル新設工事等の大型案件があった「国」は前年を上回ったものの、「県」や「市町村」が前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比42.9%増の10件、負債総額は同72.7%増の9億円となりました。

小売業で約4億円の大型倒産があった他、販売不振等を原因とする倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 長崎県の最近の経済動向

### 長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しに向けた動きが見られる

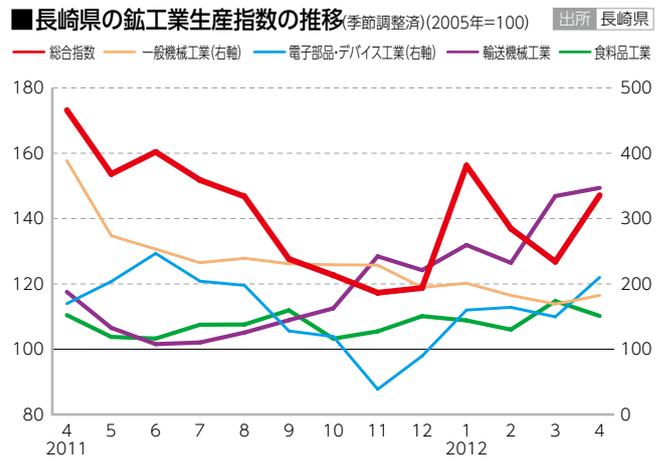
生産活動については、食料品の生産水準が低下した一方で、スマートフォン向け半導体集積回路が好調な電子部品・デバイスの他、造船が上昇する等、緩やかな持ち直しに向けた動きが見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、昨年大型百貨店閉店の影響が続いており、10ヵ月連続で前年を下回っています。住宅建設については、持家や長崎市中心部で好調な分譲が前年を上回りました。

### 1. 生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに上昇

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は147.3となり、前月比16.0%上昇しました。

主要業種では、清酒等が減産となった食料品が低下した一方で、スマートフォン向け半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイス、造船が安定した操業を続ける輸送機械が上昇しました。



### 2. 大型小売店 | 10ヵ月連続で前年を下回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比5.2%減の95億円と、10ヵ月連続で前年を下回りました。

飲食料品は増加したものの、昨年7月末の百貨店閉店の影響が大きく、衣料品を中心に全般的に低調に推移しています。





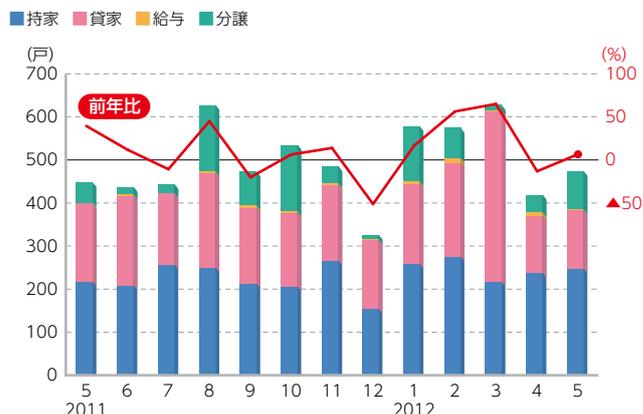
### 3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比5.8%増の474戸と2カ月ぶりに前年を上回りました。

貸家が減少した一方で、長崎市中心部の分譲マンションに加え、佐世保、諫早、大村地域の分譲戸建が好調な他、持家が増加したことにより前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



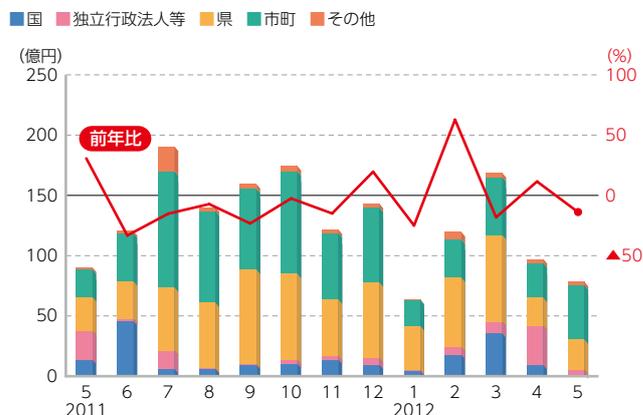
### 4.公共工事 | 請負金額は2カ月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比14.9%減の149件、請負金額は同13.2%減の78億円となり、2カ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、学校関連や体育館等の大型工事があった「市町」が大幅に前年を上回った一方で、「国」や「独立行政法人等」は減少しました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比14.3%増の8件、負債総額は同3倍超の11億円となりました。

建設業で約8億円の大型倒産があった他、販売不振を主因とした、1億円を超える倒産が2件発生したことにより、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



※7月号の長崎県企業倒産について誤りがございました。  
「旅館業で約6億円」と記載しておりましたが、  
「製造業で約5億円」の誤りでした。  
訂正してお詫びいたします。

## 佐賀県の最近の経済動向

### 佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

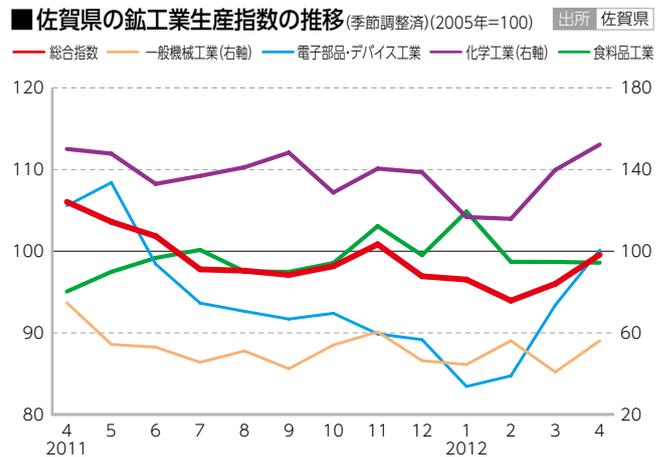
生産活動については、食料品の生産水準が若干低下したものの、化学や電子部品・デバイス、一般機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、衣料品や食料品が振るわなかった他、昨年の店舗閉鎖の影響により10ヵ月連続で前年を下回りました。住宅建設は、持家・貸家が堅調で、前年を上回っています。

### 1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で上昇

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は99.6となり、前月比3.7%上昇しました。

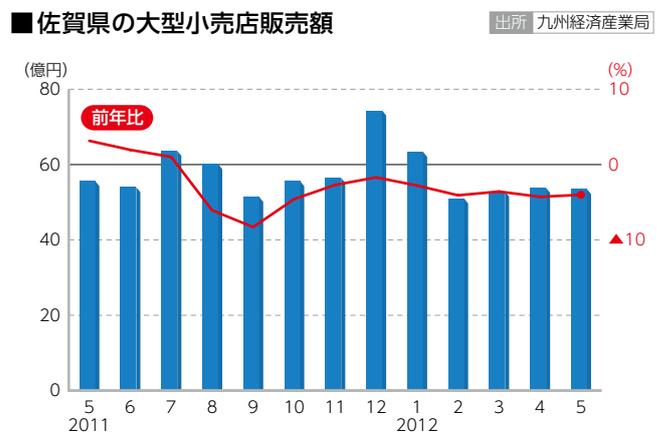
主要業種では、食料品の生産水準が若干低下したものの、化学や電子部品・デバイス、一般機械が上昇したことが、プラスに寄与しました。



### 2.大型小売店 | 10ヵ月連続で前年を下回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.9%減の54億円と、10ヵ月連続で前年を下回りました。

昨年6月のスーパー閉店の影響が続いている他、主力の衣料品や飲食料品を中心に多くの品目が振るわず、販売額は前年を下回りました。





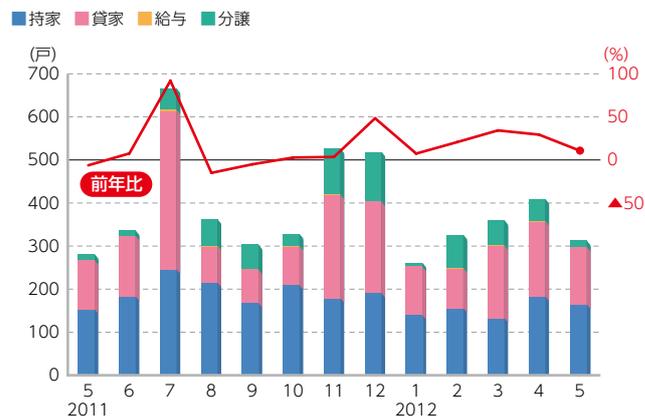
### 3.住宅建設 | 8ヵ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、312戸と前年同月比11.0%増加し、8ヵ月連続で前年を上回りました。

分譲は横ばいで推移し、住宅取得支援制度の効果等を背景として、持家、貸家ともに増加したことにより、全体としても前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



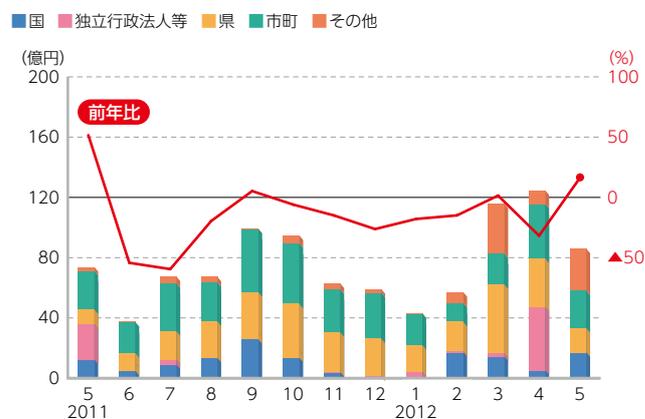
### 4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比2.1%減の137件、金額は16.6%増の86億円となり、請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、「独立行政法人等」が前年の反動で減少した一方、「その他」が病院関連の大型工事があり大幅に増加した他、「国」や「県」でも増加しました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



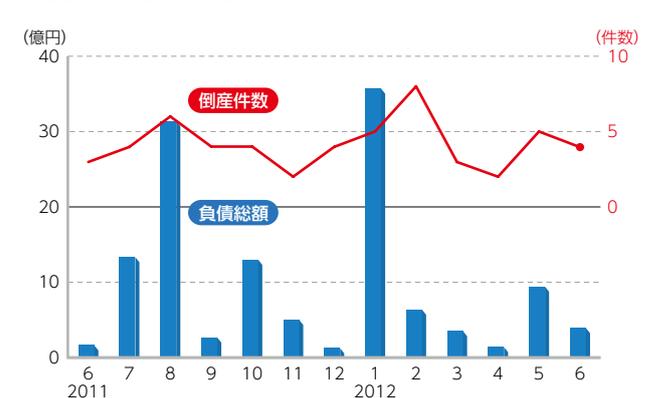
### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比33.3%増の4件、負債総額は4億円となりました。

販売不振を要因とした1億円を超える倒産が2件発生し、件数、負債総額ともに前年を上回っています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



# 全国 経済指標

項目 年月	鉱工業指数(2005年=100)						機械受注金額 (船舶・電力を除く民需)	貿易			公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)	
	生産指数		出荷指数		在庫指数			輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)								前月(年)比(%)
2009年	81.1	▲21.9	82.1	▲21.3	97.2	▲8.9	▲27.2	▲33.1	▲34.8	127,120	9.7	77,776	▲22.0	
2010年	94.4	16.4	95.8	16.7	96.0	▲1.2	7.0	24.4	18.0	113,626	▲10.6	76,043	▲2.2	
2011年	92.2	▲2.3	92.4	▲3.5	101.7	5.9	7.8	▲2.7	12.1	109,755	▲3.4	78,693	3.5	
2011.4	84.5	▲12.7	83.1	▲16.0	98.9	3.6	▲0.2	▲12.4	9.2	11,797	▲11.2	7,545	29.0	
5	89.4	▲4.6	87.5	▲8.0	104.0	8.0	0.1	▲10.3	12.4	6,355	▲14.1	6,219	8.8	
6	92.8	▲0.6	93.8	▲1.7	101.1	4.6	7.7	▲1.6	9.9	9,984	▲3.4	6,759	7.6	
7	93.8	▲1.7	94.4	▲2.6	101.1	4.4	▲2.8	▲3.3	9.9	9,597	▲15.9	7,153	2.9	
8	94.6	1.6	94.7	0.6	102.8	6.3	0.5	2.8	19.2	9,536	3.5	7,366	16.6	
9	92.8	▲2.4	93.9	▲2.6	102.9	6.0	▲2.3	2.3	12.2	12,009	3.3	5,751	▲23.3	
10	94.5	0.9	94.8	0.0	103.8	7.5	▲0.6	▲3.8	17.9	10,702	3.2	6,569	2.9	
11	92.9	▲2.9	93.0	▲4.1	103.3	8.6	3.1	▲4.5	11.5	8,447	6.8	6,398	16.2	
12	95.0	▲3.0	96.1	▲2.4	101.5	3.8	▲2.5	▲8.0	8.2	7,134	0.6	5,928	18.2	
2012.1	95.9	▲1.6	95.0	▲1.5	103.6	2.5	0.7	▲9.2	9.5	5,661	8.5	6,297	3.7	
2	94.4	1.5	95.3	1.5	103.1	1.0	2.8	▲2.7	9.2	7,049	16.8	5,588	5.5	
3	95.6	14.2	95.8	11.9	107.5	9.6	▲2.8	5.9	10.6	13,978	8.0	6,077	▲20.4	
4	95.4	12.9	96.4	16.0	109.6	10.8	5.7	7.9	8.1	12,431	5.4	6,493	▲13.9	
5	92.2	6.0	95.1	11.7	108.8	4.7	▲14.8	10.0	9.3	8,686	36.7	6,000	▲3.5	
出所	経済産業省						内閣府	財務省			西日本建設業保証		国土交通省	

項目 年月	新設住宅着工戸数					企業物価指数 (2010年=100)		消費者物価指数 (2010年=100)		大型小売店 販売額		乗用車 乗用車新規登録台数	
	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	億円	前年比(%)	台	前年比(%)
	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)								
2009年	788,410	▲27.9	▲10.6	▲30.8	▲43.7	100.1	▲5.3	100.7	▲1.4	197,758	▲5.6	2,634,048	▲5.7
2010年	813,126	3.1	7.2	▲7.3	19.6	100.0	▲0.1	100.0	▲0.7	195,791	▲2.1	2,920,499	10.9
2011年	834,117	2.6	0.1	▲4.1	16.2	101.5	1.5	99.7	▲0.3	195,933	▲0.9	2,381,121	▲18.5
2011.4	66,757	0.3	0.2	▲9.3	12.4	102.1	1.8	99.9	▲0.4	15,646	▲0.9	96,980	▲51.6
5	63,726	6.4	▲2.9	▲5.0	42.9	101.9	1.6	99.9	▲0.4	15,774	▲1.3	128,366	▲38.0
6	72,687	5.8	▲2.6	4.6	21.6	101.9	1.9	99.7	▲0.4	16,033	0.4	201,986	▲23.9
7	83,398	21.2	19.1	18.5	33.2	102.2	2.2	99.7	0.2	17,843	1.8	214,825	▲30.0
8	81,986	14.0	6.9	9.8	31.2	102.1	2.2	99.9	0.2	15,574	▲1.8	188,369	▲29.6
9	64,206	▲10.8	▲9.7	▲18.2	▲7.7	101.9	2.0	99.9	0.0	14,728	▲2.4	279,874	0.7
10	67,273	▲5.8	▲8.1	▲8.9	3.1	101.1	1.3	100.0	▲0.2	16,057	▲0.5	219,830	28.3
11	72,635	▲0.3	▲5.1	▲8.5	13.1	101.0	1.3	99.4	▲0.5	16,370	▲1.6	220,542	23.9
12	69,069	▲7.3	▲8.8	▲9.0	▲2.2	101.0	0.8	99.4	▲0.2	20,910	0.6	193,603	23.3
2012.1	65,984	▲1.1	▲2.7	1.1	▲0.5	100.9	0.3	99.6	0.1	17,383	▲0.1	238,090	42.4
2	66,928	7.5	1.5	9.4	13.1	101.1	0.4	99.8	0.3	14,659	1.3	301,250	33.2
3	66,597	5.0	▲2.3	7.8	11.8	101.6	0.3	100.3	0.5	16,032	6.1	443,030	82.1
4	73,647	10.3	2.5	16.5	13.0	101.7	▲0.4	100.4	0.4	15,664	0.1	186,698	92.5
5	69,638	9.3	8.2	15.3	4.4	101.2	▲0.7	100.1	0.2	15,753	▲0.1	210,418	63.9
出所	国土交通省					日本銀行		総務省		経済産業省		日本自動車販売協会連合会	

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	完全 失業率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				件	前年比(%)	百億円	前年比(%)	百億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)								
2009年	1,283,429	▲10.1	427,912	▲3.4	319,060	▲1.8	0.48	5.1	15,480	▲1.1	56,720	2.4	41,662	▲1.2
2010年	1,284,665	0.1	429,967	0.5	318,315	▲0.2	0.52	5.1	13,321	▲13.9	57,671	1.7	40,930	▲1.8
2011年	1,138,752	▲11.4	420,538	▲2.2	308,838	▲3.0	0.65	4.5	12,734	▲4.4	59,694	3.5	41,350	1.0
2011.4	56,401	▲42.4	375,329	▲2.3	324,744	▲2.1	0.62	4.7	1,076	▲6.8	59,500	3.0	40,924	▲0.3
5	71,916	▲23.1	310,021	▲3.3	301,174	▲0.7	0.62	4.5	1,071	4.9	59,556	2.7	40,694	▲0.5
6	92,348	▲17.0	561,723	▲6.3	286,056	▲3.9	0.63	4.6	1,165	1.5	59,474	2.5	40,789	▲0.4
7	97,570	▲13.8	469,906	1.4	309,356	▲2.3	0.65	4.7	1,081	1.4	58,876	2.7	40,780	▲0.2
8	84,621	▲16.6	381,716	▲1.7	309,078	▲4.5	0.66	4.3	1,026	▲3.6	58,974	2.7	40,659	▲0.0
9	111,670	▲8.8	347,444	▲1.4	298,931	▲2.8	0.67	4.1	1,001	▲9.2	59,339	2.7	41,224	0.4
10	100,507	25.9	402,887	▲4.0	314,275	▲2.0	0.68	4.5	976	▲14.1	58,999	3.0	40,891	0.5
11	102,611	27.8	350,792	▲1.8	295,066	▲4.7	0.69	4.5	1,095	3.2	59,530	3.4	40,922	0.8
12	95,470	16.1	749,899	▲1.2	352,005	0.7	0.71	4.6	1,032	▲6.4	59,694	3.5	41,350	1.0
2012.1	119,578	30.7	355,820	0.1	309,449	▲2.7	0.73	4.6	985	▲5.4	59,515	3.3	41,034	0.9
2	147,494	29.0	405,735	2.2	292,825	3.2	0.75	4.5	1,038	5.1	59,560	2.6	41,098	1.1
3	197,189	64.6	364,900	4.4	329,671	5.0	0.76	4.5	1,161	▲1.9	61,012	2.2	41,743	0.9
4	119,225	111.4	386,381	2.9	339,069	4.4	0.79	4.6	1,004	▲6.7	60,637	1.9	41,262	0.8
5	127,158	76.8	309,716	▲0.1	304,653	1.2	0.81	4.4	1,148	7.2	60,680	1.9	41,112	1.0
出所	全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	総務省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。なお、前年比増減率は、調査対象事業所見直し(2010年7月)に伴うギャップを調整するリンク係数を処理してあるため、実数と乖離する。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除くパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預貸金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		鉄鋼		電気機械		一般機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2009年	79.6	▲22.5	76.0	▲24.6	71.8	▲38.3	72.7	▲36.1	79.6	▲29.8	78.4	▲22.8	113.3	▲7.3
2010年	93.4	17.4	98.4	29.4	93.0	29.6	91.5	25.9	109.8	37.9	92.8	18.4	127.5	12.6
2011年	92.9	▲0.6	95.3	▲3.1	102.1	9.8	99.3	8.6	114.6	4.4	92.4	▲0.5	270.6	112.2
2011.4	83.4	▲13.5	92.7	▲10.4	112.0	23.3	86.8	6.0	58.3	▲48.8	75.7	▲20.2	195.7	103.1
5	92.9	▲0.5	96.1	▲2.3	107.1	15.2	100.8	11.9	103.6	▲4.0	87.4	▲4.9	312.5	159.0
6	92.3	▲0.9	89.0	▲12.0	107.6	16.8	111.2	17.4	117.2	10.8	94.3	2.4	285.1	82.7
7	95.8	1.8	99.5	2.5	110.5	19.1	95.3	▲2.9	135.6	22.3	97.5	2.3	285.5	121.5
8	95.7	▲0.2	95.6	3.7	106.4	11.8	102.1	6.7	133.7	19.2	96.3	0.7	301.1	137.7
9	91.9	▲3.7	87.6	▲7.4	103.7	9.2	100.2	2.6	120.7	10.4	92.4	▲1.5	306.9	152.5
10	92.9	7.1	96.3	3.5	103.9	6.4	96.2	3.5	127.4	27.9	94.8	10.3	291.0	171.6
11	91.4	0.5	85.5	▲10.6	81.9	▲12.2	100.7	4.3	125.3	13.7	93.8	3.5	290.3	98.9
12	96.9	2.6	87.9	▲14.4	90.3	▲7.8	98.2	5.2	139.4	16.2	100.6	8.1	298.4	25.3
2012.1	98.4	0.9	99.5	▲8.1	93.8	▲7.2	103.1	4.4	130.0	5.9	99.0	3.0	298.1	18.5
2	95.2	0.0	96.5	▲3.7	91.2	▲8.5	89.7	▲16.0	124.8	6.9	96.2	1.9	295.3	29.0
3	96.8	11.2	102.9	▲0.8	89.3	▲15.0	83.5	▲11.5	122.9	87.9	96.6	16.8	310.6	71.3
4	94.0	11.6	93.4	▲1.4	97.8	▲11.5	90.5	▲1.9	137.6	115.8	97.1	24.8	325.7	55.6
5														
出所	福岡県調査統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 福岡市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計	持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
2009年	▲33.3	▲35.1	3,965	▲7.0	2,310	▲37.2	28,997	▲38.5	▲10.5	▲46.6	▲45.5	100.7	▲1.3	663,771	▲5.2
2010年	33.8	17.4	3,941	▲0.6	2,574	11.4	31,156	7.4	14.1	6.5	▲0.7	100.0	▲0.7	652,922	▲3.0
2011年	0.2	13.9	3,321	▲15.7	2,560	▲0.5	34,945	12.2	▲0.7	8.6	46.1	99.8	▲0.2	689,334	4.3
2011.4	▲16.4	6.9	281	▲35.0	202	45.0	2,574	▲1.9	2.3	▲0.4	▲11.3	99.7	▲0.6	55,137	7.3
5	▲7.6	11.7	163	▲26.1	189	▲20.7	2,512	4.1	1.2	▲26.2	167.2	99.8	▲0.5	54,960	4.2
6	9.9	13.7	247	▲9.3	402	108.4	2,897	12.1	10.9	10.4	18.9	99.6	▲0.4	54,140	6.7
7	9.0	8.0	258	▲28.7	159	▲57.9	3,168	29.8	39.9	32.2	45.7	99.7	0.1	65,691	7.1
8	8.8	20.5	299	▲16.1	179	9.6	2,772	▲5.4	▲5.9	4.4	▲17.4	99.7	0.0	54,940	3.5
9	5.1	14.4	321	▲27.9	103	▲49.7	2,518	19.2	▲15.2	▲9.3	229.5	99.9	0.0	51,091	2.1
10	▲4.5	14.0	346	▲6.3	229	43.2	3,233	21.5	▲8.0	13.9	85.1	100.0	▲0.1	56,217	4.0
11	▲4.8	9.2	300	12.0	243	▲2.3	3,039	4.8	▲24.8	9.0	54.6	99.5	▲0.3	56,968	4.5
12	▲2.2	9.2	259	9.0	254	31.2	3,186	9.4	▲15.3	▲0.9	126.7	99.6	0.2	76,784	4.6
2012.1	7.0	14.5	177	5.4	171	▲20.5	2,985	▲2.9	10.8	▲13.8	11.5	99.9	0.1	61,379	4.1
2	10.8	11.2	155	▲21.4	174	▲30.5	2,766	▲8.3	▲7.6	2.2	▲25.0	100.1	0.1	50,039	3.7
3	15.2	2.1	487	1.0	363	169.6	2,867	▲2.9	▲12.7	9.8	▲1.3	100.3	0.4	55,971	▲0.5
4	23.3	14.5	281	0.1	225	11.4	2,592	0.7	3.3	0.3	▲4.2	100.3	0.6	54,482	▲1.2
5	12.4	14.0	188	15.2	171	▲9.6	2,727	8.6	▲3.5	28.6	▲4.6	100.0	0.2	55,036	0.1
出所	門司税関		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 北九州・福岡・大都市圏				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2009年	99,616	▲5.9	51,812	▲8.2	391,029	▲1.3	305,554	▲2.3	0.42	480	▲11.9	179,050	2.8	138,767	0.8
2010年	113,650	14.1	53,413	3.1	389,184	▲0.5	303,663	▲0.6	0.46	375	▲21.9	182,364	1.9	140,690	1.4
2011年	91,956	▲19.1	46,901	▲12.2	391,156	0.5	298,184	▲1.8	0.58	390	4.0	186,080	2.0	145,885	3.7
2011.4	3,275	▲58.7	2,241	▲43.8	338,728	▲3.2	286,118	▲20.6	0.55	29	7.4	187,230	3.3	140,850	2.3
5	4,605	▲44.0	3,130	▲20.7	293,028	▲6.4	285,909	0.1	0.56	30	36.4	185,064	2.1	140,586	2.1
6	7,394	▲28.7	3,542	▲25.3	541,725	5.6	273,596	▲3.5	0.56	41	32.3	185,825	2.3	140,425	2.7
7	7,969	▲32.1	4,048	▲20.5	385,442	▲9.6	306,187	2.4	0.57	37	48.0	185,806	2.3	141,353	2.5
8	7,506	▲31.2	3,505	▲21.9	377,469	3.3	305,912	9.8	0.58	38	8.6	184,625	2.3	140,305	2.4
9	11,153	8.3	4,544	▲10.1	309,088	▲1.7	290,385	▲1.5	0.59	33	▲26.7	183,620	2.0	142,471	2.9
10	8,170	17.0	4,219	40.3	421,824	11.1	291,326	0.5	0.60	33	17.9	184,083	1.9	143,499	3.4
11	8,446	24.9	4,050	20.0	318,390	▲0.2	263,765	▲11.9	0.61	37	27.6	185,545	2.7	144,672	4.0
12	7,451	24.5	3,745	15.1	706,371	9.8	330,724	▲3.1	0.63	26	▲35.0	186,080	2.0	145,885	3.7
2012.1	9,228	37.8	5,198	32.2	334,865	6.9	324,372	▲0.6	0.63	33	6.5	184,695	1.8	145,351	3.7
2	12,613	36.5	6,222	25.1	390,139	4.7	295,514	▲1.4	0.65	26	30.0	185,127	1.2	145,895	2.9
3	16,841	67.6	7,492	50.7	344,561	9.0	344,651	8.3	0.67	42	20.0	188,169	3.0	147,532	5.2
4	7,046	115.1	4,645	107.3	374,407	10.5	326,724	14.2	0.70	33	13.8	190,947	2.0	147,608	4.8
5	8,092	75.7	5,135	64.1	295,048	0.7	302,843	5.9	0.72	35	16.7	188,039	1.6	147,161	4.7
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		食料品		電子部品		一般機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2009年	80.3	▲22.5	95.7	▲2.2	103.7	▲25.2	49.0	▲37.3	71.2	▲24.6	79.2	▲21.6	112.2	▲9.7
2010年	97.1	21.0	94.1	▲1.7	114.3	10.2	90.7	85.0	81.0	13.8	92.6	16.9	97.2	▲13.4
2011年	95.6	▲1.6	98.6	4.8	101.0	▲11.6	107.2	18.2	79.1	▲2.3	94.1	1.6	113.2	16.5
2011.4	95.8	▲2.7	105.6	11.4	95.3	▲25.7	99.3	3.9	77.5	▲14.3	93.6	▲2.6	112.9	18.5
5	95.2	0.0	99.7	10.1	95.2	▲17.5	120.6	60.8	68.8	▲16.2	93.8	7.4	115.2	25.4
6	92.1	▲7.7	96.3	▲1.5	96.5	▲16.2	93.4	52.9	77.0	▲0.7	89.9	▲5.0	119.5	29.8
7	95.8	▲1.5	107.0	16.5	105.3	▲8.7	104.4	▲2.9	76.6	5.0	93.1	4.2	118.1	22.3
8	95.0	▲5.0	100.5	7.8	103.2	▲6.8	102.0	1.8	74.8	▲6.1	94.0	▲1.0	119.5	22.7
9	92.4	▲14.3	91.7	▲6.6	97.0	▲10.4	95.3	▲15.7	76.1	▲4.3	90.3	▲6.8	109.6	9.5
10	94.2	0.9	95.2	1.6	100.2	▲6.4	103.3	▲8.5	81.2	6.9	92.7	1.6	117.1	10.7
11	96.7	8.4	100.4	8.7	95.7	▲5.2	154.0	64.4	75.3	▲6.4	95.0	8.7	118.1	13.8
12	99.3	3.3	97.9	3.9	99.8	8.2	118.7	▲5.6	85.1	3.9	101.3	7.4	106.5	1.6
2012.1	99.1	▲0.2	98.9	8.4	112.5	3.5	106.7	13.6	82.1	▲10.4	95.9	0.1	107.2	▲1.1
2	99.3	6.9	102.4	7.6	113.4	14.0	137.0	22.6	88.9	5.9	102.5	9.1	101.0	▲3.7
3	97.7	1.4	102.4	4.1	113.3	2.1	101.2	6.9	88.7	14.3	100.9	7.5	95.7	▲12.5
4	95.7	▲0.1	99.2	▲6.0	119.9	25.8	94.9	▲4.4	69.3	▲10.6	93.5	▲0.1	102.7	▲9.1
5														
出所	熊本県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 熊本市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2009年	▲26.9	▲36.1	2,124	5.1	701	▲36.1	9,842	▲21.5	▲7.2	▲36.7	▲1.2	100.3	▲0.7	172,786	▲6.2
2010年	▲3.5	6.7	2,012	▲5.3	1,128	60.9	8,842	▲10.2	10.3	▲13.0	▲53.0	100.0	▲0.3	169,324	▲2.9
2011年	4.5	16.8	1,713	▲14.9	1,385	22.8	10,063	13.8	4.7	7.6	112.1	99.5	▲0.5	166,476	▲2.5
2011.4	9.7	6.7	143	▲18.7	115	80.2	696	2.1	41.1	▲32.8	45.9	99.7	▲0.8	12,958	▲3.3
5	6.5	4.3	116	▲31.5	80	13.8	803	67.6	31.1	161.3	▲6.1	99.5	▲0.6	12,852	▲4.5
6	32.6	▲8.5	112	▲8.7	129	12.9	1,038	19.2	▲26.1	65.5	96.1	99.4	▲0.6	12,663	▲3.1
7	9.5	33.4	130	▲1.0	63	▲17.8	1,187	43.5	29.4	▲1.9	251.5	99.7	0.1	15,656	▲0.4
8	▲26.5	62.3	134	▲11.0	165	105.0	1,093	62.4	18.3	148.2	45.2	99.6	▲0.2	13,083	▲3.4
9	5.4	20.2	185	▲9.3	162	53.8	705	▲12.5	▲16.5	▲44.3	202.5	99.8	▲0.3	12,310	▲1.2
10	18.5	▲14.7	172	▲14.9	173	▲17.5	678	▲7.8	▲22.5	▲10.5	114.5	99.9	▲0.2	13,459	▲4.0
11	▲43.0	0.0	164	▲13.1	65	▲49.0	781	▲17.8	▲3.5	▲37.4	73.6	99.2	▲0.5	13,414	▲3.5
12	▲7.2	29.7	136	▲22.7	112	50.9	1,024	24.9	15.8	6.7	261.4	99.2	▲0.3	18,856	▲2.6
2012.1	6.9	8.1	97	6.4	58	▲72.8	713	4.1	▲11.9	57.2	▲45.1	99.2	▲0.2	14,962	▲5.4
2	▲1.9	▲15.0	105	38.1	68	14.8	841	30.4	▲10.0	101.5	40.8	99.2	▲0.2	12,044	▲1.4
3	▲28.3	6.0	228	▲9.7	120	147.7	965	32.6	5.8	12.5	600.0	99.9	0.2	13,655	3.4
4	▲31.9	21.6	124	▲13.1	59	▲48.4	1,163	67.1	▲10.6	154.9	242.6	99.8	0.1	13,036	0.6
5	▲9.2	0.1	109	▲5.7	59	▲25.8	905	12.7	14.7	4.3	59.7	99.7	0.2	12,976	1.0
出所	門司税関		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 熊本市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2009年	32,853	5.4	25,999	▲8.1	394,898	0.1	312,070	1.3	0.38	127	▲29.1	49,790	2.4	29,669	0.5
2010年	38,068	15.9	26,647	2.5	377,069	▲4.5	297,101	▲4.8	0.46	114	▲10.2	50,857	2.1	30,272	2.0
2011年	29,430	▲22.7	22,718	▲14.7	351,844	▲6.7	277,713	▲6.5	0.61	110	▲3.5	51,564	1.4	30,903	2.1
2011.4	1,077	▲56.0	1,096	▲45.0	301,194	▲19.4	265,066	▲22.1	0.60	2	▲83.3	51,859	2.9	30,190	3.4
5	1,396	▲48.9	1,515	▲25.0	257,194	▲18.4	256,337	▲15.4	0.59	5	66.7	51,350	1.8	30,194	3.1
6	2,418	▲27.2	1,664	▲24.3	426,198	▲8.2	269,534	▲8.5	0.59	7	▲22.2	51,891	2.4	30,276	3.1
7	2,612	▲39.2	1,988	▲16.8	352,529	▲15.2	273,555	▲7.4	0.61	13	116.7	51,328	1.6	30,421	3.3
8	2,572	▲31.0	1,912	▲10.9	324,905	3.7	260,582	▲7.1	0.61	11	57.1	51,054	2.0	30,313	2.8
9	3,466	▲5.5	2,144	▲14.0	318,388	2.7	249,191	▲10.2	0.61	9	▲18.2	50,991	1.8	30,562	2.5
10	2,678	19.8	1,936	4.9	365,400	2.4	272,809	11.2	0.62	10	▲41.2	50,759	0.9	30,358	2.3
11	2,724	31.7	2,129	23.2	325,983	16.7	276,308	9.4	0.66	11	10.0	50,976	1.4	30,473	2.6
12	2,336	35.0	1,944	11.5	656,041	19.0	324,028	15.5	0.67	11	83.3	51,564	1.4	30,903	2.1
2012.1	2,912	40.7	2,466	28.2	354,630	21.3	336,390	13.6	0.69	8	0.0	50,932	1.7	30,581	1.8
2	3,858	36.0	2,999	35.3	435,697	38.6	352,299	27.3	0.68	6	▲50.0	51,014	1.3	30,541	1.7
3	5,673	74.8	3,596	59.8	365,627	27.2	364,552	16.8	0.69	12	9.1	51,629	1.8	31,015	1.8
4	2,423	125.0	2,501	128.2	348,183	15.6	369,091	39.2	0.67	6	200.0	52,639	1.5	30,577	1.3
5	2,709	94.1	2,546	68.1	294,530	14.5	248,677	▲3.0	0.65	6	20.0	52,216	1.7	30,753	1.9
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

鉱工業生産指数(電子部品)は、経済産業省の統計調査において集積回路の一部に報告内容の修正があった為、2011年5月以降の数値が著しく大きくなっています。

# 経済指標 長崎 Nagasaki

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										造船 生産高		機械等 生産高		電子部品 生産高	
	総合		一般機械		食料品		電子部品		輸送機械		億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)						
2009年	125.9	▲17.4	123.0	▲20.2	101.0	▲0.7	190.3	▲25.5	110.8	▲6.9	2,131	▲5.8	2,484	▲21.9	▲18.7	
2010年	142.8	13.5	197.4	60.4	105.7	4.6	205.6	8.0	106.7	▲3.6	1,954	▲8.3	2,506	0.9	11.1	
2011年	141.1	▲1.2	240.3	21.7	106.5	0.9	159.6	▲22.4	112.3	5.3	1,963	0.4	1,982	▲20.9	▲21.5	
2011.4	172.7	17.7	384.9	58.2	110.2	1.6	170.8	▲37.4	117.1	131.0	152	▲1.3	166	▲43.5	▲15.3	
5	153.4	0.9	270.7	34.8	103.7	▲2.1	204.0	▲14.2	106.3	▲13.8	149	▲17.5	161	▲38.3	▲24.9	
6	160.1	15.7	251.2	27.8	103.1	▲3.1	246.7	36.0	101.4	▲8.1	174	▲8.7	167	▲40.3	▲28.2	
7	151.6	14.5	230.9	53.9	107.4	▲0.5	203.9	8.4	102.1	▲7.0	149	▲4.5	160	▲15.6	▲32.4	
8	146.7	7.0	238.3	23.2	107.6	5.7	197.2	2.5	105.0	▲3.2	167	4.4	195	▲23.5	▲19.4	
9	127.5	▲5.7	230.3	24.3	111.9	6.2	128.2	▲29.2	108.8	▲8.5	162	▲18.3	123	▲42.1	▲14.3	
10	122.6	▲13.4	228.0	4.1	103.3	▲2.2	118.8	▲37.6	112.4	3.7	210	35.2	151	▲19.5	▲23.5	
11	117.4	▲22.3	227.1	2.1	105.5	▲0.8	39.1	▲80.1	128.2	16.2	167	2.8	157	▲7.4	▲20.9	
12	118.8	▲20.6	193.7	▲23.2	110.1	3.3	89.0	▲53.0	124.0	9.1	160	▲3.0	166	8.3	▲25.8	
2012.1	156.2	4.4	200.4	12.5	108.7	6.0	159.1	▲20.4	131.9	10.5	147	▲0.4	162	▲6.4	▲24.0	
2	137.1	▲4.1	183.1	▲21.4	105.9	5.2	164.1	▲2.5	126.7	23.8	156	12.9	192	15.3	▲18.3	
3	127.0	▲9.2	170.3	▲30.2	114.5	4.8	149.9	▲11.2	146.9	23.3	138	▲26.4	184	▲6.1	1.5	
4	147.3	▲14.7	184.4	▲52.1	110.0	▲0.2	208.8	22.2	149.2	27.4	144	▲5.7	162	▲2.6	▲31.2	
5															▲32.9	
出所	長崎県統計課										三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業			日本銀行長崎支店		

項目 年月	貿易		漁業水揚げ金額		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				観光施設 入場者数 (主要6施設合計)		消費者物価指数 (2010年=100) 長崎市		
	輸出金額	輸入金額	百万円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計	持家	貸家	分譲	千人	前年比(%)	指数	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)							戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2009年	7.4	▲53.0	59,901	▲18.5	1,959	24.4	596	2.3	5,767	▲16.9	▲13.7	▲9.5	▲53.9	2,387	▲7.4	100.7	▲1.0
2010年	▲3.5	12.6	57,267	▲4.4	1,774	▲9.5	560	▲6.1	5,466	▲5.2	5.9	▲16.2	▲7.1	2,241	▲6.1	100.0	▲0.7
2011年	▲12.2	18.5	63,871	11.5	1,590	▲10.4	761	35.9	5,501	0.6	0.9	▲8.2	72.5	2,012	▲10.2	99.5	▲0.5
2011.4	4.7	▲4.9	6,135	7.5	87	▲11.2	38	13.7	486	28.9	0.5	▲4.1	941.7	129	▲19.0	99.5	▲0.8
5	▲48.7	▲6.8	5,686	19.9	90	30.3	130	631.1	448	39.6	▲4.8	154.2	128.6	254	▲11.6	99.7	▲0.6
6	▲29.2	28.8	4,367	6.4	121	▲32.4	51	▲49.2	437	14.1	6.6	24.0	▲10.0	129	▲0.3	99.4	▲0.6
7	▲38.0	▲7.5	4,535	9.3	191	▲15.2	29	▲15.4	443	▲10.9	12.2	▲32.1	31.3	146	▲4.5	99.3	▲0.4
8	40.9	45.4	4,861	13.3	140	▲7.4	60	4.9	627	45.5	4.2	23.7	1,000.0	262	▲12.6	99.2	▲0.6
9	21.4	12.1	4,720	7.0	159	▲23.0	57	1.4	473	▲20.5	▲11.7	▲12.8	393.8	184	▲4.4	99.8	0.1
10	▲43.7	24.9	5,207	16.3	174	▲2.5	70	15.9	535	6.2	▲2.4	▲13.6	64.9	216	▲8.7	99.9	▲0.2
11	86.8	96.5	6,014	6.9	122	▲14.7	71	4.6	485	13.8	8.1	19.7	37.9	203	▲8.8	99.4	▲0.2
12	▲62.8	▲25.4	6,650	8.0	143	19.2	45	37.5	326	▲51.7	▲40.5	▲48.7	▲89.9	110	3.3	99.2	▲0.4
2012.1	▲2.6	▲4.4	5,399	12.0	64	▲24.9	74	▲19.1	578	17.0	22.3	11.3	12.3	107	18.1	99.6	0.1
2	68.0	21.5	4,974	▲12.6	120	62.5	86	56.9	574	56.4	27.9	63.4	311.8	105	▲25.4	99.6	0.4
3	▲30.0	10.8	5,453	5.2	169	▲18.0	174	171.5	627	65.0	11.9	128.2	9.1	163	10.7	100.0	0.5
4	▲45.1	11.7	5,490	▲10.5	97	11.9	49	30.0	419	▲13.8	20.8	▲17.9	▲67.2	164	26.5	100.0	0.5
5	30.7	28.1	5,495	▲3.4	78	▲13.2	59	▲54.7	474	5.8	14.3	▲26.2	85.4	253	▲0.6	99.7	0.0
出所	門司税関		県内主要4魚市場		西日本建設業保証		国土交通省				長崎県観光振興推進本部		総務省				

項目 年月	大型小売店 販売額		乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 長崎市				有効 求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	百万円	前年比(%)	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)		倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円
							可処分所得	消費支出									
2009年	117,941	▲5.5	20,921	3.3	21,725	▲6.6	388,129	6.5	308,588	4.0	0.41	122	▲31.5	41,579	1.6	22,992	▲3.0
2010年	120,621	▲1.0	23,656	13.1	21,371	▲1.6	448,225	15.5	311,550	1.0	0.46	72	▲41.0	42,018	1.1	22,815	▲0.8
2011年	121,789	▲1.9	18,633	▲21.2	18,210	▲14.8	336,448	▲24.9	271,058	▲13.0	0.58	78	8.3	42,677	1.6	23,035	1.0
2011.4	9,678	▲2.2	669	▲58.2	1,033	▲33.3	313,454	▲13.5	295,191	▲2.5	0.55	3	0.0	42,908	2.2	22,808	0.9
5	10,005	▲0.6	958	▲42.4	1,197	▲26.7	291,864	▲9.1	261,565	▲6.2	0.56	7	75.0	42,703	2.0	22,917	0.0
6	9,806	0.6	1,493	▲26.9	1,282	▲30.6	366,981	▲49.4	249,410	▲13.8	0.59	7	▲36.4	43,099	1.8	22,808	0.1
7	12,204	3.6	1,723	▲31.2	1,619	▲13.9	356,068	▲26.9	278,714	▲3.3	0.61	8	14.3	42,928	2.1	23,009	0.5
8	9,732	▲7.4	1,610	▲32.2	1,464	▲17.0	287,957	▲28.4	240,859	▲30.4	0.59	6	100.0	42,592	1.9	22,950	0.5
9	8,742	▲5.8	2,265	▲1.4	1,714	▲10.3	282,974	▲28.5	245,994	▲10.6	0.58	2	▲71.4	42,355	1.7	22,867	0.4
10	9,321	▲5.2	1,668	22.8	1,590	11.3	323,994	▲25.4	265,437	▲24.1	0.59	6	100.0	42,320	1.6	22,880	0.6
11	9,603	▲6.1	1,673	24.4	1,616	22.0	294,569	▲21.0	236,439	▲20.2	0.62	11	175.0	42,638	2.4	22,807	1.0
12	12,893	▲2.5	1,472	20.7	1,610	22.3	542,537	▲34.0	267,387	▲31.8	0.63	7	▲22.2	42,677	1.6	23,035	1.0
2012.1	10,547	▲5.1	1,985	51.8	1,966	26.8	255,288	▲13.9	242,185	▲17.3	0.63	6	▲14.3	42,558	2.1	22,995	0.8
2	8,721	▲4.4	2,384	43.2	2,201	35.3	231,361	▲8.1	246,242	▲5.0	0.63	4	▲50.0	42,673	2.1	22,994	0.1
3	9,236	▲3.5	3,331	56.5	3,083	61.7	274,876	▲17.0	290,448	▲19.2	0.64	6	0.0	43,543	2.5	23,502	1.2
4	9,201	▲4.9	1,435	114.5	1,877	81.7	297,119	▲5.2	258,260	▲12.5	0.61	5	66.7	43,899	2.3	22,920	0.5
5	9,479	▲5.3	1,624	69.5	1,995	66.7	230,982	▲20.9	250,228	▲4.3	0.61	10	42.9	43,070	0.9	22,992	0.3
出所	九州経済産業局		日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ	日本銀行				

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚げ金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。  
観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パルルシーリゾート、平戸城、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

項目 年月	鉱工業生産指数(2005年=100)										鉱工業出荷指数 (2005年=100)		鉱工業在庫指数 (2005年=100)	
	総合		一般機械		電子部品		化学		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2009年	85.0	▲15.7	43.8	▲50.3	79.1	▲29.9	120.4	8.2	92.6	▲3.2	81.3	▲15.7	92.2	▲9.9
2010年	100.2	17.9	49.4	12.9	112.3	41.9	114.3	▲5.1	93.7	1.1	92.9	14.3	92.6	0.4
2011年	100.3	0.1	53.8	8.9	98.4	▲12.3	133.3	16.7	98.1	4.7	92.7	▲0.2	95.8	3.5
2011.4	106.0	8.2	74.7	38.9	105.6	▲7.0	150.0	36.4	95.0	2.9	96.6	4.5	95.4	11.6
5	103.5	5.9	55.1	24.1	108.4	▲4.7	147.6	45.3	97.4	6.1	94.7	5.0	95.7	4.7
6	101.8	2.8	52.7	21.7	98.4	▲6.9	132.5	15.0	99.1	7.4	93.7	2.0	96.8	6.7
7	97.7	▲3.6	45.7	▲0.4	93.6	▲11.5	136.5	20.9	100.1	0.6	91.3	▲0.6	93.8	▲1.4
8	97.5	▲1.6	51.1	15.0	92.6	▲16.3	140.8	37.6	97.5	2.0	90.6	▲2.8	96.4	2.4
9	97.0	▲7.5	42.4	▲23.3	91.7	▲17.8	147.9	13.7	97.4	3.4	89.0	▲4.9	96.6	▲1.7
10	98.1	▲1.6	53.9	▲5.9	92.4	▲13.1	128.8	9.2	98.5	6.6	90.9	▲0.4	97.1	▲2.3
11	100.8	0.8	60.3	19.8	89.9	▲16.0	140.3	15.0	103.0	7.0	91.6	▲1.1	98.6	3.8
12	97.0	▲5.0	46.2	▲19.4	89.2	▲22.0	138.5	21.0	99.5	6.0	90.0	▲3.3	96.6	▲1.5
2012.1	96.5	▲2.0	44.3	▲32.8	83.5	▲21.8	116.9	32.5	104.8	7.0	90.5	▲3.7	93.9	1.3
2	94.0	▲2.0	55.8	6.5	84.8	▲21.2	115.8	32.9	98.8	8.5	89.5	▲4.0	87.5	1.2
3	96.0	▲8.1	40.6	▲17.1	93.4	▲11.9	139.5	▲3.0	98.8	0.7	90.0	▲5.3	95.9	▲2.2
4	99.6	▲6.2	56.0	▲24.0	100.1	▲4.7	152.1	▲5.9	98.6	3.2	92.7	▲4.7	103.0	6.9
5														
出所	佐賀県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 佐賀市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計	持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
2009年	▲6.1	0.2	1,248	11.8	384	▲45.6	4,477	▲28.1	▲7.3	▲33.7	▲74.9	100.8	▲0.6	69,004	▲2.9
2010年	12.9	21.2	1,058	▲15.3	647	68.7	4,075	▲9.0	3.4	▲31.7	135.7	100.0	▲0.8	69,828	1.2
2011年	▲39.4	▲12.1	978	▲7.5	662	2.3	4,417	8.4	2.9	10.6	60.9	99.4	▲0.7	70,066	0.3
2011.4	▲39.2	33.2	182	45.1	89	131.2	316	▲0.6	22.6	▲45.2	766.7	99.6	▲0.7	5,633	▲0.5
5	57.7	20.1	74	51.6	69	64.4	281	▲6.0	▲15.5	17.5	40.0	99.4	▲1.0	5,574	▲2.3
6	939.2	▲72.3	37	▲54.2	25	▲36.5	336	8.0	13.7	9.3	▲42.9	99.0	▲0.9	5,402	▲3.4
7	954.3	▲31.8	67	▲26.8	50	▲41.7	666	91.9	41.4	259.8	▲29.6	99.3	▲0.2	6,370	1.0
8	46.5	72.9	67	▲19.7	37	▲7.0	362	▲15.2	7.0	▲52.5	258.8	99.3	▲0.3	6,004	▲6.1
9	▲97.6	▲12.2	99	5.5	34	27.8	303	▲5.0	▲11.1	18.5	▲7.9	99.4	▲0.2	5,153	▲8.3
10	▲95.6	45.0	95	▲5.7	36	▲81.8	328	2.8	13.0	▲22.4	75.0	99.5	▲0.8	5,556	▲4.6
11	877.5	▲28.6	63	▲14.9	103	143.3	526	3.5	▲20.8	12.7	55.1	99.2	▲0.6	5,647	▲2.7
12	▲97.9	64.7	59	▲26.0	55	▲33.8	518	48.4	▲5.9	57.0	2,200.0	99.1	▲0.5	7,430	▲1.7
2012.1	218.5	▲26.6	43	▲17.8	27	▲58.4	261	7.4	0.7	31.8	▲52.6	99.3	▲0.1	6,321	▲2.8
2	2.4	35.1	57	▲15.0	28	▲25.4	326	20.7	2.6	▲15.0	755.6	99.4	0.0	5,101	▲4.1
3	▲94.5	38.7	116	1.4	19	▲70.4	360	34.3	▲14.7	57.5	883.3	99.9	0.3	5,276	▲3.6
4	18.0	▲6.7	125	▲31.7	75	▲15.0	409	29.4	1.7	104.7	▲1.9	99.8	0.1	5,391	▲4.3
5	1.9	38.4	86	16.6	20	▲71.4	312	11.0	7.2	17.5	0.0	99.6	0.3	5,357	▲3.9
出所	門司税関		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

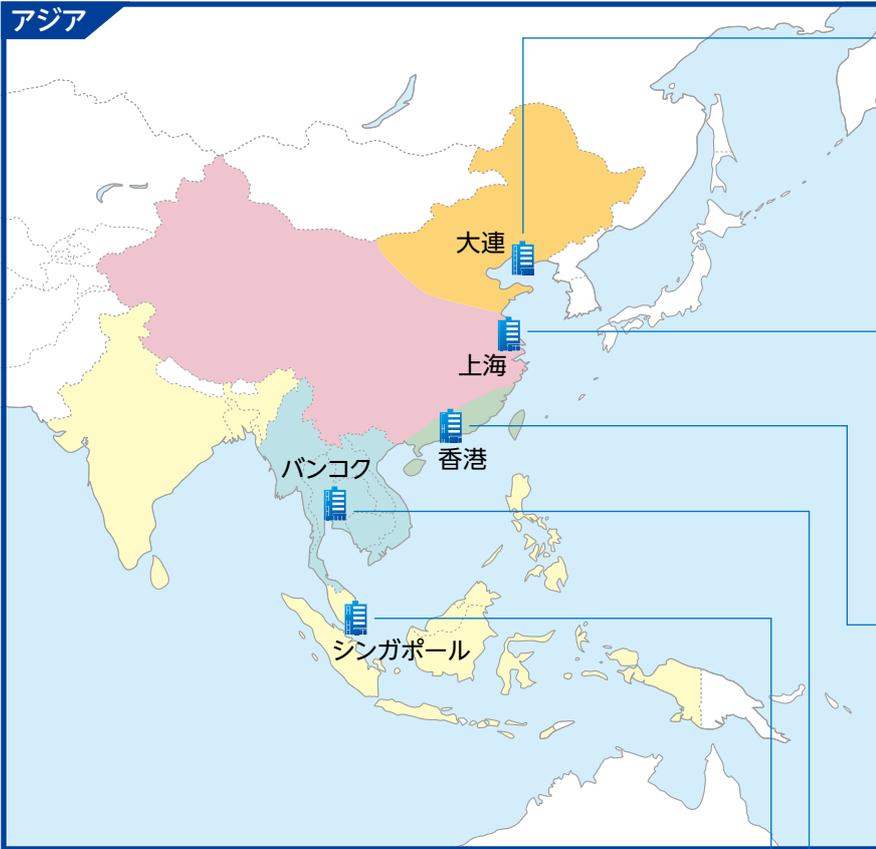
項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 佐賀市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2009年	14,198	2.8	13,627	▲5.1	438,413	10.3	332,454	9.5	0.43	60	▲36.2	20,745	1.5	11,242	0.8
2010年	16,289	14.7	12,945	▲5.0	456,205	4.1	326,601	▲1.8	0.49	47	▲21.7	21,104	1.7	11,214	▲0.2
2011年	12,548	▲23.0	11,414	▲11.8	429,542	▲5.8	314,463	▲3.7	0.62	45	▲4.3	21,268	0.8	11,217	0.0
2011.4	475	▲56.2	593	▲36.4	403,326	2.6	291,168	▲10.3	0.61	2	▲60.0	21,567	1.7	11,249	0.4
5	633	▲43.5	718	▲20.2	310,139	▲1.3	283,092	▲8.3	0.62	7	40.0	21,413	1.4	11,192	▲0.1
6	1,049	▲27.4	866	▲21.8	522,539	▲11.8	339,233	24.2	0.63	3	50.0	21,563	1.7	11,128	▲0.3
7	1,072	▲35.0	929	▲17.0	457,728	▲6.1	353,869	10.9	0.63	4	▲42.9	21,447	1.3	11,217	▲0.1
8	960	▲39.0	846	▲19.1	387,806	▲9.8	300,608	▲23.7	0.63	6	20.0	21,200	1.0	11,151	▲0.3
9	1,433	▲11.3	1,128	▲8.1	360,766	▲6.3	279,664	▲17.2	0.63	4	100.0	21,043	1.4	11,129	0.2
10	1,101	15.0	1,053	27.2	416,347	▲9.9	343,236	14.1	0.63	4	33.3	21,048	0.4	11,123	▲0.5
11	1,156	28.6	962	23.2	373,226	▲7.9	324,873	7.3	0.64	2	▲33.3	21,079	1.3	11,119	0.7
12	995	22.1	1,053	25.7	744,475	▲17.6	390,822	13.9	0.64	4	33.3	21,268	0.8	11,217	0.0
2012.1	1,377	42.8	1,240	30.8	365,113	▲3.3	347,585	18.2	0.64	5	66.7	21,062	0.7	11,132	▲0.6
2	1,665	30.6	1,461	38.2	443,158	2.1	344,740	33.4	0.66	8	300.0	21,160	0.9	11,148	▲0.7
3	2,371	65.2	1,990	57.8	398,019	8.6	351,186	11.7	0.68	3	▲25.0	21,764	1.7	11,276	▲0.4
4	895	88.4	1,219	105.6	407,394	1.0	375,604	29.0	0.73	2	0.0	21,638	0.3	11,108	▲1.3
5	1,095	73.0	1,272	77.2	331,209	6.8	304,429	7.5	0.74	5	▲28.6	21,512	0.5	11,133	▲0.5
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ	日本銀行				

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。



# 海外拠点紹介

## 〈海外駐在員事務所の位置と担当範囲〉



### 福岡銀行 大連駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Dalian Representative Office)

【所在地】  
中華人民共和国大連市人民路60号  
大連富麗華大酒店622号室

【電話番号】  
(国番号 86)411-8282-3643

【所長】  
宮城 正志



### 福岡銀行 上海駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Shanghai Representative Office)

【所在地】  
中華人民共和国上海市延安西路2201号  
上海国際貿易中心2010号室

【電話番号】  
(国番号 86)21-6219-4570

【所長】  
安恒 忠紀



### 福岡銀行 香港駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Hong Kong Representative Office)

【所在地】  
Room 404, 4/F, Far East Finance Centre,  
16 Harcourt Road, Hong Kong

【電話番号】  
(国番号 852)2524-2169

【所長】  
菅 大輔



### 福岡銀行 バンコク駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Bangkok Representative Office)

【所在地】  
16th Floor Unit 1606, Park Ventures Ecoplex,  
57 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan,  
Bangkok 10330, Thailand

【電話番号】  
(国番号 66)2-256-0695

【所長】  
貞方 泰徳



### 福岡銀行 シンガポール駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. Singapore Representative Office)

【所在地】  
One George Street #17-05  
Singapore 049145

【電話番号】  
(国番号 65)6438-4913

【所長】  
酒口 昇



### 福岡銀行 ニューヨーク駐在員事務所 (The Bank of Fukuoka, Ltd. New York Representative Office)

【所在地】  
One Rockefeller Plaza, Suite 1201,  
New York, NY 10020-2003

【電話番号】  
(国番号 1)212-247-2966

【所長】  
藤井 雅博



# 「格安航空会社(LCC)」と「ロンドンオリンピック」に関する意識調査について

特別企画

FFG生活者アンケート(福岡県)



## はじめに

今年、国内初の本格的な格安航空会社(LCC※1)であるピーチ・アビエーションが3月に、ジェットスター・ジャパンが7月にそれぞれ運行を開始し、さらには、8月には新たにエアアジア・ジャパンが日本の空への参入を予定する等、本格的なLCC元年となっています。

また、今年、英国・ロンドンで7月27日から8月12日までの17日間にわたって世界最大のスポーツの祭典である「ロンドンオリンピック(第30回オリンピック競技大会)」が開催される年でもあり、日本国内でも応援ムードが高まる等、各方面から注目が集まっています。

FFGビジネスコンサルティングでは、この度新たに「FFG生活者アンケート調査」を実施し、こうした今年の大きな動きを踏まえて、LCCに対する消費者の認知度および利用意向、そして、ロンドンオリンピックにおける注目の競技種目等について、福岡県在住の方々に対してアンケート調査を行いましたので、その結果の概要をご紹介します。

※1-LCCとは、Low-Cost Carrierの略称で、効率的な運営により低価格運賃で運行サービスを提供する航空会社

### 【調査概要】

調査対象：福岡県在住の男女3000人  
 (男性1500人、女性1500人)  
 調査時期：平成24年6月  
 調査方法：インターネット調査

## 1

### 福岡へ就航予定の格安航空会社(LCC)への意識調査

#### 【調査結果の概要】

1. 格安航空会社(LCC)の認知度については、国内で既に就航しているLCCの認知度は概ね高いものの、今後新たに就航を予定している会社ならびに海外LCCの認知度はまだ低い。

2. LCCに対するイメージについては、1位は「料金が手ごろな」78.0%、2位は「庶民的」41.3%と低価格のイメージが先行している結果となった。

3. 今後のLCC利用の意向については、「機会があれば利用したい」が1位で44.7%、「既に利用しており、今後も利用したい」が2位で11.7%、「あまり利用したいとは思わない」が3位で11.0%と、今後利用が増えていく可能性が見込まれる結果となった。

4. LCCに対する消極的利用意向15.3%(内訳：あまり利用したいとは思わない「11.0%」、利用したいと思わない「4.3%」のうち、その理由は、「安全性が心配」が1位で67.4%、「事故の場合の補償が心配」が2位で47.8%、「座席や通路が狭い」が3位で43.5%との結果となった。

### 【格安航空会社(LCC)の認知度】

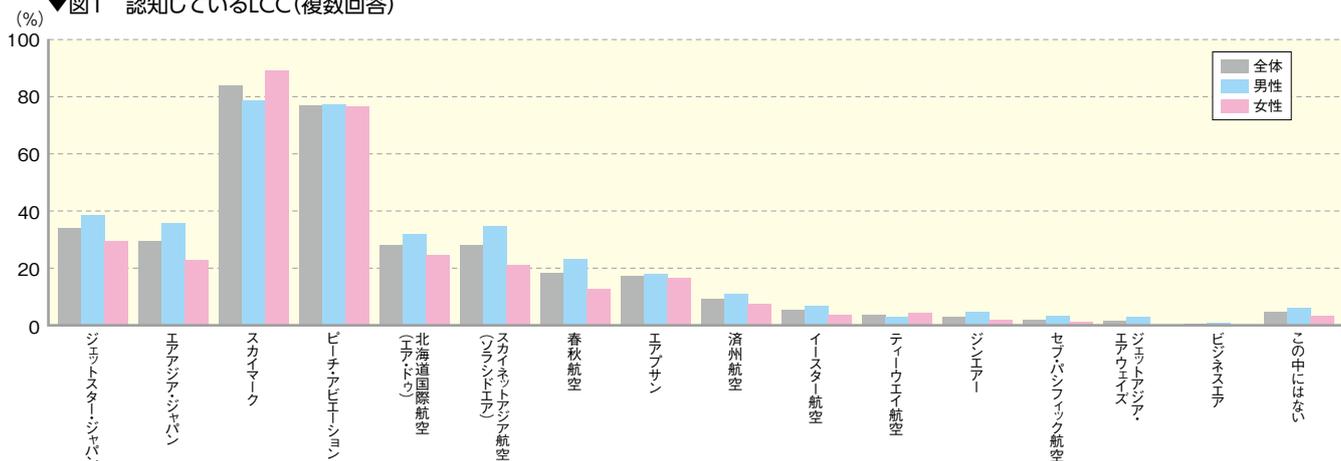
#### 問1

格安航空会社(LCC)として知っているものはどれですか  
 (複数回答)

まず、LCCへの意識調査として認知度について尋ねると、国内で既に就航している航空会社は概ね高いものの、今後新たに参入を予定している航空会社(本調査時点で参入前だったジェットスター・ジャパンを含む)や海外のLCCの認知度はまだまだ低い状況です(図1)。福岡空港に乗り入れている2社(スカイマーク、ピーチ・アビエーション)の認知度は8割前後と突出しています。

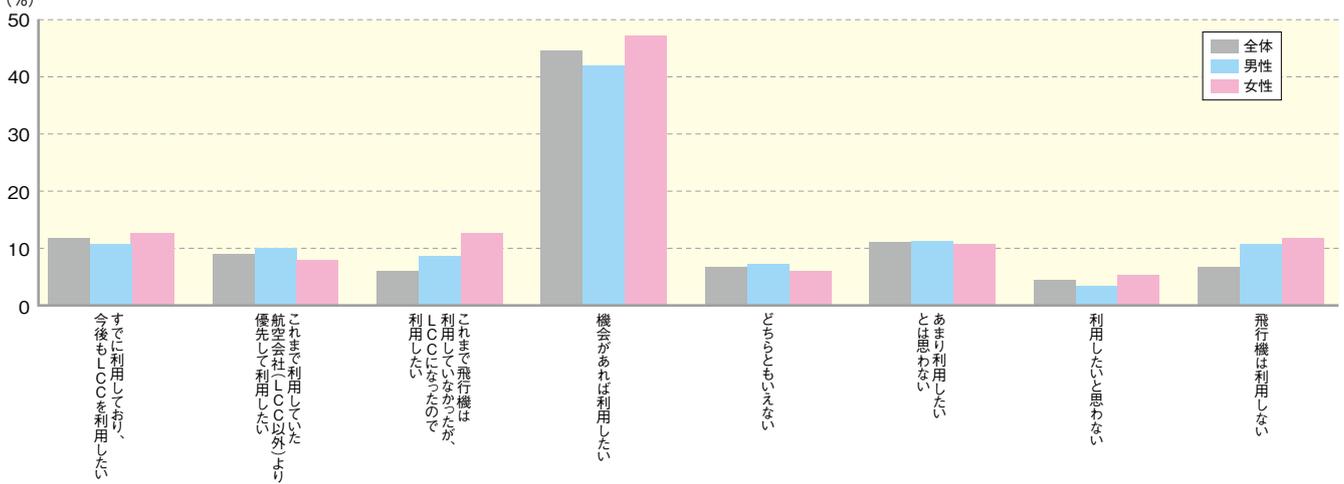
(注)スカイマーク、スカイネットアジア航空、北海道国際航空の3社については、全日空や日本航空などの大手航空会社と比べ、使用機種の統一や機内サービスの簡素化等に取り組んでいることから、本件アンケート調査ではLCCとして取り扱っています。

▼図1 認知しているLCC(複数回答)





▼図4 LCCに対する利用意向



「あまり利用したいとは思わない」が11.0%となりました(図4)。

大手航空会社からのシフトや新たな需要が期待される質問に対して「これまで利用していた航空会社(LCC以外)より優先して利用したい」は9.0%、「これまで飛行機は利用していなかったが、LCCになったので利用したい」は6.0%と、大手航空会社や新幹線などLCC以外からの積極的なシフト意向については限定的という結果となりました。

**【LCCに対する消極的利用意向】**

**問5** 格安航空会社(LCC)を利用したいと思わない理由(複数回答)

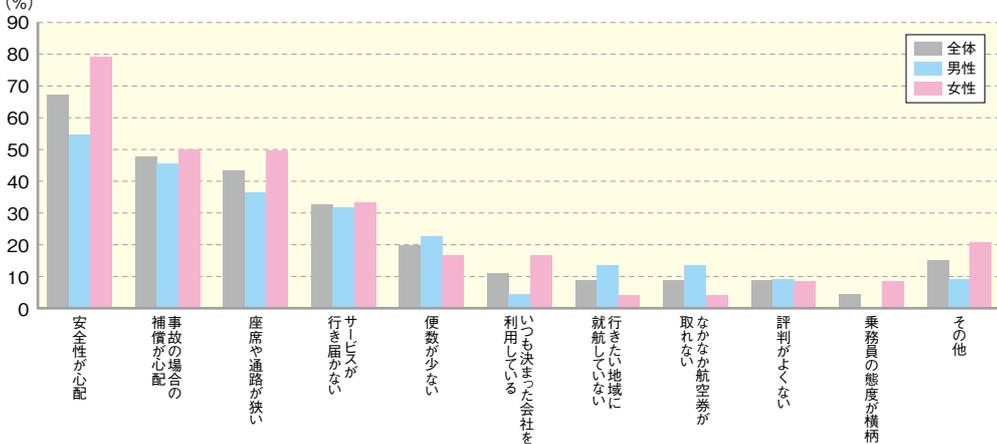
問4にて、LCCを「あまり利用したいと思わない」「利用したいと思わない」との回答者に対して、その理由について尋ねたところ、最も多かった理由は「安全性が心配」で67.4%、次いで「事故の場合の補償が心配」が47.8%、「座席や通路が狭い」が43.5%、「サービスが行き届かない」が32.6%という結果となり、安全性の確保や、補償対応、そしてサービス面に関して、顧客が不安

を感じている結果となりました(図5)。

こうした不安要素をいかにして取り除くかが、今後利用者の拡大を図る上での課題になると言えます。

(横尾 崇裕)

▼図5 利用したいと思わない理由(複数回答)



**2 福岡県民が注目する ロンドンオリンピック**

(ロンドンオリンピックへの意識調査)

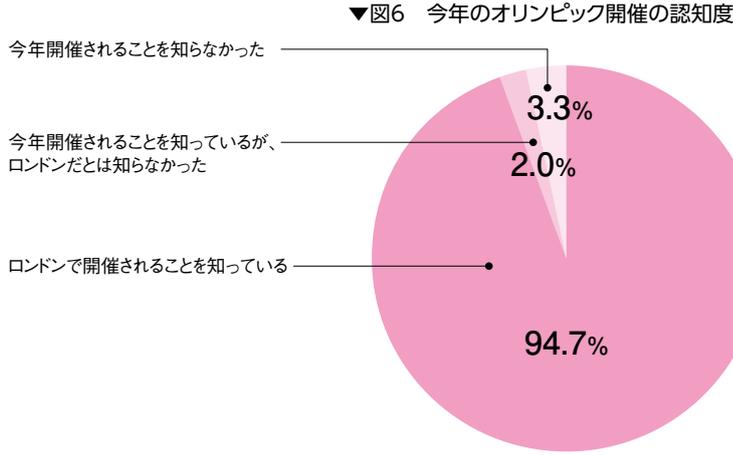
【調査結果の概要】

1. ロンドンオリンピックの認知度については、全体では「ロンドンで開催されることを知っている」が94.7%となり、認知度は極めて高い。
2. 応援したい競技種目は、1位は「男子サッカー」49.7%、2位は「水泳」49.3%、3位は「女子サッカー」46.7%という結果となった。
3. 応援したい選手は、1位は「北島康介」得票数85、2位は「内村航平」得票数33となり、過去の国際大会等で実績のある選手に加えて、地元九州出身の選手を応援する傾向も見られた。
4. 日本選手が金メダルを獲得できると思う競技種目は、1位は「水泳」53.0%、2位「体操」45.0%、3位「柔道」42.0%という結果となった。また、なでしこジャパンの「女子サッカー」の金メダル獲得への期待も大きい。
5. 日本選手団により獲得が期待される金メダルの合計数は、5.8個となった。なお、年齢層別では、60代の回答者の予想個数が6.4と最も多くなっている。

## 【ロンドンオリンピックの認知度】

**問6** 今年、オリンピックがロンドンで開催されることを知っていますか

LCCに続き、今年7月に開催されるロンドンオリンピックについて尋ねてみると、全体では「ロンドンで開催されることを知っている」が94.7%となり、認知度は極めて高くなっています(図6)。



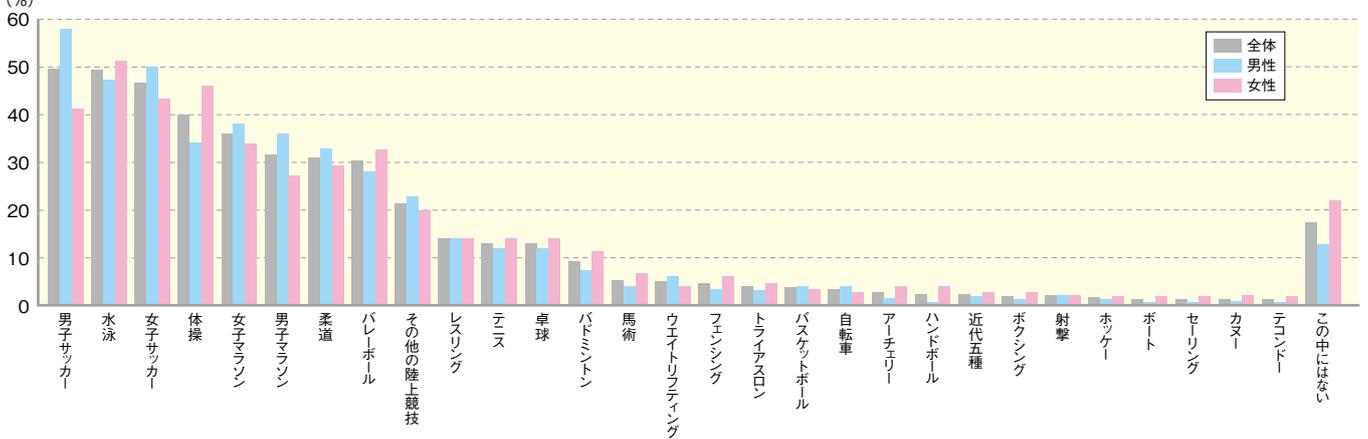
## 【応援したい競技種目、選手】

**問7** あなたが応援したい競技種目(複数回答)

続いて、福岡県民が応援したい競技種目について尋ねると、全体では「男子サッカー」が49.7%と最も多く、次いで「水泳」が49.3%、「女子サッカー」が46.7%、「体操」が40.0%という結果になり、その他「女子マラソン」「男子マラソン」「柔道」「バレーボール」等が上位に並びました(図7)。

男性の回答者では、「男子サッカー」「女子サッカー」等を応援する方が多かったのに対し、女性の回答者では、「水泳」「体操」等を応援する方が多くなっています。

▼図7 ロンドンオリンピックで応援したい競技種目(複数回答)



**問8** あなたが応援したい選手(3名以内)

福岡県民が応援したい選手は、「北島康介(男子水泳・平泳ぎ)」が得票数85で第一位となり、次いで「内村航平(男子体操)」が得票数33、「澤穂希(女子サッカー)」が得票数17となり、過去の国際大会等で実績のある選手やメディア等で知名度の高い選手が上位に並びました(図8)。

なお、北九州市出身で中学時代まで長崎県諫早市で過ごした内村航平選手その他、同じく諫早市出身の「藤原新(男子マラソン)」、福岡県出身で九州国際大学付属高校卒の「潮田玲子(女子バドミントン)」、北九州市出身の「竹下佳江(女子バレーボール)」等の地元九州出身の選手を応援する傾向も見られます。

## 【日本選手が獲得する金メダル】

**問9** 日本選手が金メダルを獲得できると思う競技種目(複数回答)

続いて、日本選手が金メダルを獲得できると思う競技種目について

▼図8 応援したい選手(3名以内回答)

順位	選手名(出場種目)	得票
1位	北島 康介(男子水泳・平泳ぎ)	85
2位	内村 航平(男子体操)	33
3位	澤 穂希(女子サッカー)	17
4位	福原 愛(卓球)	14
5位	藤原 新(男子マラソン)	13
6位	吉田 沙保里(女子レスリング)	10
	田中 理恵(女子体操)	10
8位	錦織 圭(男子テニス)	9
	室伏 広治(男子ハンマー投)	9
10位	木村 沙織(女子バレーボール)	8
11位	本田 圭祐(-)	7
12位	福島 千里(女子100M・200M)	6
13位	香川 真司(-)	5
	竹下 佳江(女子バレーボール)	5
	潮田 玲子(女子バドミントン)	5
16位	福士 加代子(女子1000M)	4
17位	太田 和臣(男子重量挙げ)	3
	中本 健太郎(男子マラソン)	3
19位	ディーン 元気(男子やり投げ)	2
	穴井 隆将(男子柔道)	2
	寺川 綾(女子水泳・背泳ぎ)	2
	狩野 舞子(女子バレーボール)	2
	浅田 真央(-)	2
	長谷部 誠(-)	2

※得票2票以上のみ記載。苗字のみは記載せず。

**問10** 日本選手団が獲得すると思う金メダルの合計数

最後に、今回のロンドンオリンピック

尋ねると、全体では「水泳」が53.0%と最も多く、次いで、「体操」が45.0%、「柔道」が42.0%という結果になりました(図9)。また、なでしこジャパンの「女子サッカー」の金メダル獲得への期待も大きいようです。

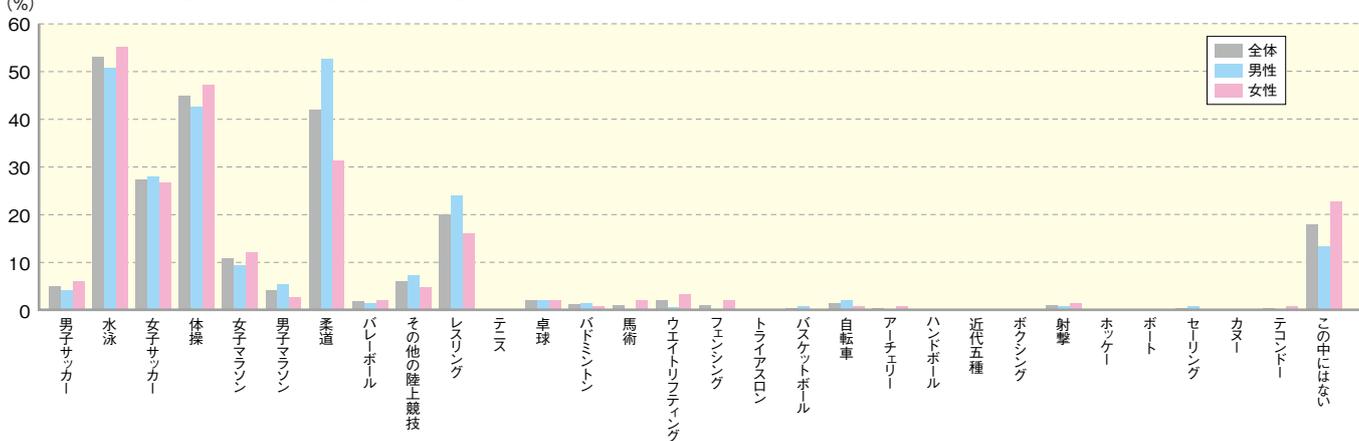
なお、応援したい競技種目(図7参照)と金メダル獲得が期待できる競技種目とは必ずしも一致しません。これは種目ごとに、有力選手の有無や強豪ライバルの存在等が影響していると言えます。

クで日本選手団により獲得が期待される金メダルの合計数は、全体では5.8個となりました。男女別では、男性の回答者が6.0個と女性の5.6個を上回っています。なお、過去の金メダルの獲得個数は、前回2008年の北京オリンピックでは9個、前々回2004年のアテネオリンピックでは16個でした。

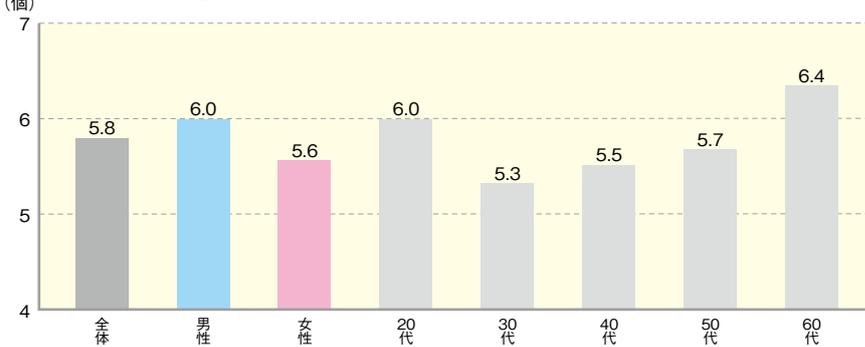
年齢層別では、60代の方の予想個数が6.4と最も多くなっており、「日本代表の活躍」というオリンピックに夢を託すシルバー層の方々

(田中 義一)

▼図9 日本選手が金メダルを獲得できると思う種目(複数回答)



▼図10 日本選手団が獲得できると思う金メダルの数



# 記念セミナー & イベント開催!

イベントのご案内

定員各10名・当日参加OK

参加費無料

## インテリア・建材フェアin住まいるギャラリー

期間

平成24年7月28日(土)～8月31日(金)

上記期間中は、住まいるギャラリーにたくさんの展示をいたします!

展示物  
一覧

バリアフリー  
関連商品



照明器具



太陽光発電  
パネル



浴槽・  
キッチン



カーテン・  
壁紙



ブラインド・  
シェード



POINT 1

専門家  
による  
ミニ講座  
開催

〈予約コード〉  
C-77

平成24年  
7月31日(火)  
11:00～11:30

今から考える  
安心・安全な  
住まいづくり

〈予約コード〉  
C-78

平成24年  
7月31日(火)  
12:00～12:30

LEDでつくる  
快適な住まいの  
ライティング

〈予約コード〉  
C-79

平成24年  
7月31日(火)  
13:00～13:30

なるほど太陽光  
ソーラー発電を  
実感しよう!

〈予約コード〉  
C-80

平成24年  
8月2日(木)  
11:00～11:30

こだわりの  
キッチン・水廻り  
機器で実現!  
エコで便利な  
暮らし

〈予約コード〉  
C-81

平成24年  
8月2日(木)  
12:00～12:30

壁紙だけじゃ  
ない!  
部屋を楽しく  
オシャレにする  
装飾材

〈予約コード〉  
C-82

平成24年  
8月2日(木)  
13:00～13:30

自然風と  
光を取りこむ  
窓まわりの  
アイテム

POINT 2

NHKあさイチでおなじみ  
※**スーパー主婦来場!!**

※公益財団法人 全国友の会振興財団福岡支部所属

〈予約コード〉 平成24年8月3日(金) 11:00～11:30

C-83 マイホーム購入の夢を叶える家計管理術

〈予約コード〉 平成24年8月3日(金) 13:00～13:30

C-84 使いやすさ120%のキッチン整理術

POINT 3

マイホーム購入の第一歩  
建築士によるミニ講座開催!!

〈予約コード〉 平成24年7月31日(火) 14:00～14:30  
C-85

家づくりはこうしてすすむ!住宅購入の流れ

〈予約コード〉 平成24年8月2日(木) 14:00～14:30  
C-86

住宅広告を読み解こう

〈予約コード〉 平成24年8月4日(土) 14:00～14:30  
C-87

夏のカラーコーディネート

POINT 4

夏休みの思い出づくりに!!親子で工作体験

〈予約コード〉 平成24年8月4日(土)  
11:00～12:00

C-88 親子でDIY!  
フラワーポットペイント

〈予約コード〉 平成24年8月7日(火)  
11:00～12:00

C-89 夏休みの工作にぴったり!  
太陽光ソーラー照明作り

〈予約コード〉 平成24年8月21日(火)  
11:00～12:00

C-90 手作り重曹ペーストとアクリル  
たわしで簡単エコ掃除

〈予約コード〉 平成24年8月27日(月)  
11:00～12:00

C-91 親子でDIY!  
フラワーポットペイント

※上記講座は、全て本店中2階の「住まいるギャラリー」で開催されます。

## 夢のおうちを描いてみよう!

住まいるギャラリーにお越しただき、夢のおうちを  
描いてくれたお子さまにお菓子をプレゼント!

※お一人様一個限り。小学生以下のお子さまが描いた絵に限りです。

【受付】住まいるギャラリー

【期間】平成24年7月30日(月)～8月31日(金)

期間中、お子さまの絵は住まいるギャラリーに展示させていただきます。

福岡銀行

平成24年7月25日現在

FFG MONTHLY SURVEY Vol.51 52

# 福岡銀行 住まいるギャラリー 1周年

セミナーのご案内

参加費無料

## 「大改造!!劇的ビフォーアフター」出演の 匠・高橋 浩伸氏 来場!!

“匠”に聞きたい!! 究極の住まいづくり  
～感動の住空間をデザインする～

開催日時

〈予約コード〉  
C-76

平成24年7月28日(土)

13:30~15:00(13:00から受付開始)

※なおセミナー終了後は、住まいるギャラリーにてお飲物とお菓子を準備しております。  
お気軽にお立ち寄りください。

場所 福岡銀行本店 4階 セミナールーム

定員 80名

プロフィール

高橋 浩伸 一級建築士・博士(工学)  
(有)木鶏建築研究所 代表取締役  
福岡県福岡市博多区博多駅前1-18-1  
<http://www4.ocn.ne.jp/~mokkei/>

〈経歴〉九州芸術工科大学大学院博士後期課程 修了  
九州大学芸術工学部 非常勤講師  
麻生建築&デザイン専門学校 非常勤講師  
「大改造!!劇的ビフォーアフター」3回出演



特典 “匠”による個別相談会を開催

※相談ご希望の方は資料や図面をご持参の上、当日受付でお申し出ください。  
※希望者多数の場合は、順番をお待ちいただく場合やご要望に沿えない  
場合がございます。あらかじめご了承ください。

### ご注意事項

- 先着順ですので、お早めにお申込みください。
- 受講票等は送付いたしませんので、ご来場の際は、受付にてお名前をお伝えください。
- セミナーの受付は開始時間の30分前からとなります。
- セミナー開始後30分経過しますと、受付は終了させていただきます。受付終了後はセミナーにご参加いただけませんので、あらかじめご了承ください。
- セミナーの予定は、予告なしに変更する場合がございます。最新の情報は福岡銀行のホームページをご覧ください。また、自然災害などによりセミナーの内容変更、中断または中止させていただくことがあります。
- 駐車場については数に限りがございます。公共の交通機関をご利用ください。

### セミナーのお申込みは

福岡銀行のホームページにアクセスし、「セミナー・キャンペーン・イベント」よりお申込みください。

<http://www.fukuokabank.co.jp>

ふくぎん

■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ

☎ 0120-559-655

(携帯・PHSからもご利用いただけます。)

受付時間/9:00~20:00(但し、銀行休業日は除きます。)

お電話の場合は、上記へ直接お電話いただき、お申込みください。

予約コード(C-76など)とテーマをお申し付けください。

あなたのいちばんに。

FFG 福岡おカフィナンシャルグループ

■住まいるギャラリー

TEL 092-723-2290

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店 中2階  
営業時間/平日 9:00~17:00 土曜 10:00~17:00  
※12月31日~1月3日はお休みさせていただきます。

# 人と人とのつながりがビジネスを広げる FFG経営者クラブ

ビジネスに直結する情報提供を通じて会員企業さまの発展をサポートいたします。

## FFG経営者クラブの主なご提供サービス



### ビジネスに即した様々な情報を入手!

■FFG経営者クラブインターネット情報サービスによる情報提供  
経営上の疑問・課題の解決に役立つ豊富な情報をタイムリーに提供します。



### FFGのネットワークを利用した商談会・交流会!

■商談会・地区別交流会の開催  
販路拡大に繋がる商談会や会員相互の交流、情報交換を目的に地区別交流会を開催いたします。



### 実務情報や経営ノウハウが直接聞ける!

■セミナー・研修会の開催  
経営に関するテーマを中心に、経験豊富な講師陣による各種セミナー・研修会を開催いたします。



### 社員教育・研修で大活躍! 多様なテーマでバックアップ!

■社員教育用DVD・ビデオの無料貸出  
新入社員、若手社員向けのビジネスマナーはもちろん、コンプライアンス経営、顧客満足など、経営全般に参考となるDVD・ビデオ(総数200タイトル以上)を無料でご利用いただけます。



### 交通至便な福岡天神の商談スペース!

■ビジネスマッチングフロアのご利用  
福岡銀行本店ビル5F(福岡天神)のビジネスマッチングフロアを無料でご利用いただけます。



### ビジネスに役立つ! 日常業務でも使える!

■FFG調査月報、小冊子、参考図書のご提供  
ふくおかファイナンシャルグループの経済情報誌やオリジナルハンドブックをお届けします。



ビジネスに役立つ様々なサービスをご利用いただけます。

年会費

26,000円

お申込み  
お問合せは

### FFG経営者クラブ事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング  
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階  
TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258

